

特209

327

十四年十二月

國家總動員法ニ基ク關係法令

産業組合中央會北海道支會



0055956000

0055956-000

特209-327

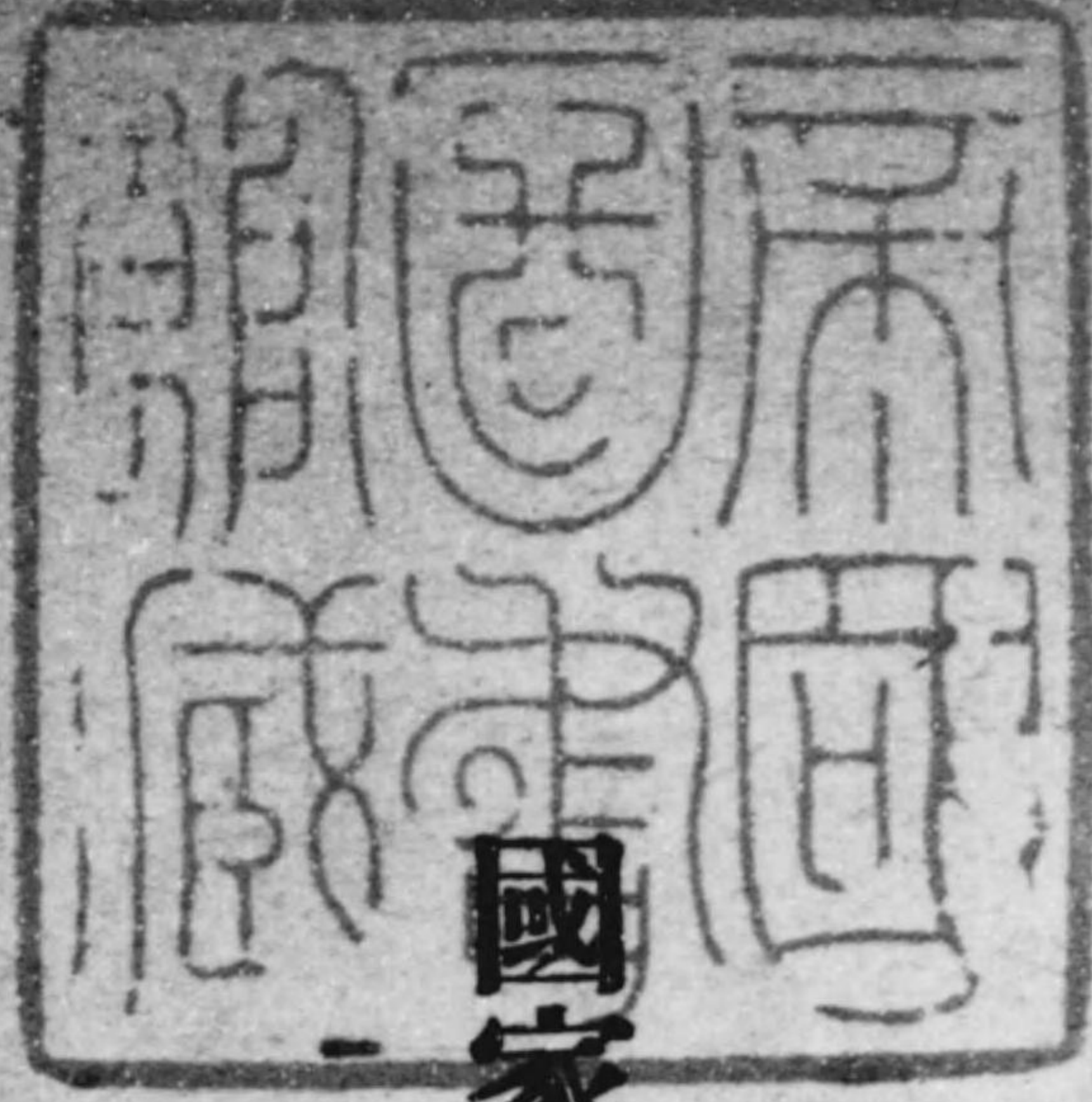
國家總動員法ニ基ク關係法令

産業組合中央會北海道支會

昭和14

AJB

特 209
327



國家總動員法ニ基ク關係法令



Vertical text on the right page, possibly a library or archival stamp, though the characters are faint and difficult to read.

目次

一 國家總動員法……………昭和十三年三月三十一日(公布)法律第五十五號……………一

二 國家總動員法施行期日ノ件……………昭和十三年五月三日(公布)勅令第三百十五號……………八

三 價格等統制令……………昭和十四年十月十八日(公布)勅令第七百三號……………九

四 價格等統制令施行規則……………昭和十四年十月十九日(公布)閣令第十三號……………一五

五 賃金臨時措置令……………昭和十四年十月十八日(公布)勅令第七百五號……………二三

六 賃金臨時措置令施行規則……………昭和十四年十月十九日(公布)厚生省令第三十四號……………二七

七 會社職員給與臨時措置令……………昭和十四年十月十八日(公布)勅令第七百六號……………三四

八 會社職員給與臨時措置令施行規則……………昭和十四年十月十九日(公布)閣令第十四號……………三九

九 職員給與臨時措置調查委員會官制……………昭和十四年十月二十一日(公布)勅令第七百十六號……………五〇

一〇 地代家賃統制令……………昭和十四年十月十六日(公布)勅令第七百四號……………五一

一一 地代家賃統制令施行規則……………昭和十四年十月十九日(公布)厚生省令第三十三號……………五四

一二 地代家賃審査會官制……………昭和十四年十月二十一日(公布)勅令第七百十八號……………五六

一三 地代家賃統制令施行細則……………昭和十四年十一月一日(公布)北海道廳令第百二號……………五七

一四	軍需品工場事業場検査令	昭和十四年十月十八日(公布)勅令第七百七號	五
一五	軍需品工場事業場検査令施行規則	昭和十四年十月十九日(公布)陸軍省令第五十三號	六〇
一六	電力調整令	昭和十四年十月十八日(公布)勅令第七百八號	三
一七	電力調整令施行規則	昭和十四年十月十八日(公布)逓信省令第四十六號	六
一八	米穀搗精等制限令	昭和十四年十一月二十四日(公布)勅令第七百八十九號	六九
一九	米穀搗精制限令規則	昭和十四年十一月二十五日(公布)農林省令第六十四號	七二
附			
一	木造建物建築統制規則	昭和十四年十一月八日(公布)商工省令第六十七號	七三
二	木造建物建築統制規則第一條第二項指定	昭和十四年十一月八日商工省告示第三百十七號	七五
三	木造建物建築統制規則施行細則	昭和十四年十一月二十一日(公布)北海道廳令第一百十號	七六

國家總動員法

第一條 本法ニ於テ國家總動員トハ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ總動員物資トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 兵器、艦艇、彈藥其ノ他ノ軍用物資
- 二 國家總動員上必要ナル被服、食糧、飲料及飼料
- 三 國家總動員上必要ナル醫藥品、醫療機械器具其ノ他ノ衛生用物資及家畜衛生用物資
- 四 國家總動員上必要ナル船舶、航空機、車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
- 五 國家總動員上必要ナル通信用物資
- 六 國家總動員上必要ナル土木建築用物資及照信用物資
- 七 國家總動員上必要ナル燃料及電力
- 八 前各號ニ掲グルモノノ生産、修理、配給又ハ保存ニ要スル原料、材料、機械器具、裝置其ノ他ノ物資
- 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル

第三條 本法ニ於テ總動員業務トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

第一條 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出入又ハ保管ニ關スル業務

- 一 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出入又ハ保管ニ關スル業務
- 二 國家總動員上必要ナル運輸又ハ通信ニ關スル業務
- 三 國家總動員上必要ナル金融ニ關スル業務
- 四 國家總動員上必要ナル衛生、家畜衛生又ハ救護ニ關スル業務
- 五 國家總動員上必要ナル教育訓練ニ關スル業務
- 六 國家總動員上必要ナル試驗研究ニ關スル業務
- 七 國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務
- 八 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務
- 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル

第四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要ナルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨グズ

第五條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要ナルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國又ハ地方公共團體ノ行フ總動員業務ニ付協力セシ

ムルコトヲ得

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働爭議ノ豫防若ハ解決ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止其ノ他ノ勞働爭議ニ關スル行爲ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十一條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、

目的變更、社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付

制限若ハ禁止ヲ爲シ、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當該事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲メノ社債ノ募集又ハ資本ノ増加ニ付商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グルモノヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ハ當該施設ニ於テ現ニ實施スル特許發明若ハ登録實用新案ヲ實施スルコトヲ得

政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務ニ必要ナル土地又ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理使用又ハ收用スルコトヲ得

第十四條

政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十五條 前二條ノ規定ニ依リ收用シタルモノ不用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ハ舊權利者又ハ其ノ一般承繼人ハ優先ニ之ヲ買受クルコトヲ得

第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ制限若ハ禁止シ又ハ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ加盟者若ハ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種又ハ異種ノ事業ノ事業主ニ對シ當該事業ノ統制ヲ目的トスル組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ組合ハ法人トス

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ組合成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ組合ノ組合員タラシムコトヲ得

政府ハ第一項ノ組合ニ對シ其ノ組合員ノ營業ニ關スル統制規程ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ組合員ニ對シ組合ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ新聞紙其ノ他ノ出版物ノ掲載ニ付制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル新聞紙其ノ他ノ出版物ニシテ國家總動員上支障アルモノノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ併セテ其ノ原版ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇備若ハ使用スル者
ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又
ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

第二十二條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ學校、養成所、工場、事業場其ノ他技能者
ノ養成ニ適スル施設ノ管理者又ハ養成セラレベキ者ノ雇
傭主ニ對シ國家總動員上必要ナル技能者ノ養成ニ關シ必
要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、販賣又ハ輸入ヲ業トス
ル者ヲシテ當該物資又ハ其ノ原料若ハ材料ノ一定數量ヲ
保有セシムルコトヲ得

第二十四條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ノ事業主又ハ戰時ニ際
シ總動員業務ヲ實施セシムベキ者ヲシテ戰時ニ際シ實施
セシムベキ總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシメ又ハ當
該計畫ニ基キ必要ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ總動員物
資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者又ハ試驗研究機關ノ管理
者ニ對シ試驗研究ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定

ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産又ハ修理ヲ業トスル者ニ
對シ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ補助金
ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ政府ハ其ノ者ニ對シ
國家總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ爲サシメ又ハ國家總動
員上必要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十
條、第十三條若ハ第十四條ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ
規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル
資金ノ融通若ハ有價證券ノ應募、引受若ハ買入ノ命令又
ハ第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設擴張若ハ改良ノ命令
ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

第二十八條 政府ハ第二十二條、第二十三條又ハ第二十五
條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所
ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付
ス

第二十九條 前二條ノ規定ニ依ル補償ノ金額及第十五條ノ
規定ニ依ル拂下ノ價額ハ總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政
府之ヲ定ム

總動員補償委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條 政府ハ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ
利益ノ保證又ハ補助金ノ交付ヲ受クル事業ヲ監督シ之ガ
爲必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定

ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場
所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査
セシムルコトヲ得

第三十二條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸
入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一
萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタ
ル物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收ス
ルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザ
ルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第三十三條 左ノ各號ヲ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役
又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第七條ノ規定ニ依ル命令又ハ制限若ハ禁止ニ違反シ
タル者

二 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸入ヲ爲
サザル者

四 第十條ノ規定ニ依ル總動員物資ノ使用又ハ收用ヲ拒
ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

五 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ハ工作物ノ管
理、使用若ハ收用又ハ從業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌

避シタル者

六 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役
又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反
シタル者

二 第十六條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反
シタル者

三 第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ違反シ認可ヲ
受ケズシテ統制協定若ハ統制規定ヲ設定、變更若ハ廢
止シ又ハ第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ依ル命
令ニ違反シタル者

四 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ保有ヲ爲サザ
ル者

五 第二十六條ノ規定ニ違反シ生産、修理又ハ設備ヲ爲
サザル者

第三十五條 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役
及罰金ヲ併科スルコトヲ得

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役
又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條ノ規定ニ依ル徵用ニ應ゼズ又ハ同條ノ規定ニ
依ル業務ニ從事セザル者

一 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
二 第二十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ計畫ノ設定又ハ演練ヲ爲サザル者
三 第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ試験研究ヲ爲サザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ組合ノ設立ヲ爲サザル者
二 第三十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者
三 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第三十九條 第二十條第一項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ發行人及編輯人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ發行者及著作者ヲ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
新聞紙ニ在リテハ編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者及掲載ノ記事ニ署名シタル者亦前項ニ同ジ

第四十條 第二十條第二項ノ規定ニ依ル差押處分ノ執行ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス
前項ノ場合ニ於テ收受シタル賂賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十七條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賂賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得
第四十八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十二條乃至第三十四條、第三十六條第二號、第三十七條、第三十八條又ハ第四十三條前段ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑又ハ科料刑ヲ科ス

第四十九條 前條ノ規定ハ本法施行地ニ本店又ハ主たる事務所ヲ所有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地外ニ住所ヲ有スル人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同

妨害シタル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 前二條ノ罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ
第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第四十四條 總動員業務ニ從事シタル者其ノ業務遂行ニ關シ知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者職務上知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四十五條 公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十六條 第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ設立シタル組合ノ役員其ノ職務ニ關シ賂賂ヲ收受シ又ハ之ヲ

ジ
本法ノ罰則ハ本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニモ之ヲ適用ス
第五十條 本法施行ニ關スル重要事項(軍機ニ關スルモノヲ除ク)ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲メ國家總動員審議會ヲ置ク
國家總動員審議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八號ハ之ヲ廢止ス
本法施行前軍需工業動員法ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ之ヲ本法中ノ相當規定ニ基キテ爲シタルモノト看做ス
軍需工業動員法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル

〔參照〕

明治三十二年三月九日法律第四十八號商法抄錄
第二百條 社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ニ超ユルコトヲ得ズ
最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產前項ノ金額ニ滿タザルトキハ社債ノ總額ハ其財產ノ額ニ超ユルコトヲ得ズ
第二百十條 會社ノ資本ハ株金全額拂込ノ後ニ非ザレバ之ヲ增加スルコトヲ得ズ
昭和十二年九月十日法律第八十八號軍需工業動員法ノ適用ニ關スル件ナリ

國家總動員法施行期日ノ件

國家總動員法ハ昭和十三年五月五日ヨリ之ヲ施行ス

價格等統制令

- 第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第十九條ノ規定ニ基キ價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃貸料又ハ加工賃（以下價格等ト稱ス）ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 價格等ハ昭和十四年九月十八日（以下指定期日ト稱ス）ニ於ケル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合及本令施行ノ際在ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 注文生産品ノ價格ニ付生産者ガ生産ニ著手シタルモノ
- 二 其ノ他ノ價格ニ付買主其ノ他ノ支拂者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 三 運送賃又ハ加工賃ニ付運送人又ハ加工者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 四 保管料、損害保險料又ハ賃貸料ニ付支拂者ガ履行運滞ニ在ルモノ
- 前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格等ノ受領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定マルモノトシ指定期日ニ爲シタル契約アル場合ハ其ノ契約額（同ジ事情ノ下ニ於テ數種ノ契約額アリタルトキハ其ノ最高額）、偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカリシ場合ハ契約ヲ爲シタルベキ額トス
- 價格等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合ニ於テハ閣令ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ニ於ケル額トス
- 第三條 商工業業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員（構成員ガ組合其ノ他之ニ

準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム第二項ノ場合亦同ジニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

行政官廳必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ商工農業者等ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額(前條第一項若ハ第二項又ハ第二十條ノ規定ニ依リ看做サルモノノヲ除ク)ガ著シク不當ト認メラルルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得但シ其ノ引下實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第五條 前三條ノ規定ハ有價證券ノ價格及賃貸料、土地及

建物ノ價格其ノ他閣令ヲ以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額又ハ他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ本令施行後ノ處分ハ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 前條ノ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等(有價證券ノ價格及賃貸料ヲ除ク以下同ジ)ノ額ヲ指定シタルトキハ第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定ハ指定期日ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更(第六條ノ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行

政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク)ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等ノ額ノ引上ト看做ス

第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第二條、第六條又ハ第七條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險若ハ加工ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ
一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝鮮米穀市場株式會社ノ開設スル米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ價格
二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運送賃

送賃

三 其ノ他閣令ヲ以テ定ムルモノ

第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ屬スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第十五條 本令ノ施行ニ關スル主務大臣ハ左ノ各號ニ定ムル所ニ依ル

一 農林水産物ノ生産者及其ノ組織スル法人ノ販賣スル場合ノ農林水産物ノ價格並ニ農林水産業專用物品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣
二 酒造税法ノ酒類並ニ酒精及酒精含有飲料税法ノ酒精及酒精含有飲料ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及大藏大臣
三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ商工大臣及厚生大臣

四 運送賃並ニ運送ニ直接關聯スル保管料及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ陸上運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及航空運送ニ在リテハ逓信大臣

五 田、畑、畑、山林及原野ノ價格及賃貸料、家畜ノ賃貸料、農林水産物ノ保管ヲ目的トスル倉庫(倉庫營業者及商

工業者ノ組織スル法人ノ營ム倉庫ヲ除クノ保管料並ニ閉令ヲ以テ定ムル農林水産物及農林水産業専用物品ノ加工賃ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣

六 船舶ノ價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ逓信大臣但シ總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ農林大臣及逓信大臣

七 兵器、彈藥、艦船等ニシテ軍機保護上必要アルモノニ關スル第二條ニ規定スル事項ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣

八 前各號ノ場合ヲ除クノ外商工大臣

九、第六條ニ規定スル法令ニ於テ規定スル價格等ニ關スル事項ニ付テハ前各號ニ拘ラズ當該法令ニ於ケル主務大臣

第十六條 前條第七號ニ掲グル場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ閉令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

附則

第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第三十一號ステールプルフアイバー及ステールプルフアイバー絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則

昭和十三年臺灣總督府令第一百四十四號物品販賣價格取締規則

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則

左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九條及第十條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號(昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件)第八條及第九條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則第五條及第六條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條及第七條

前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十四年農林省令第四十二號農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

格取締規則第一條

昭和十三年臺灣總督府令第一百四十四號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

第二十一條 左ニ掲グル規定ニ依リ農林大臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府道知事、臺灣總督府州知事若ハ廳長又ハ南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣價格指定又ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲シタル價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス但シ閉令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

昭和十四年農林省令第四十二號農林水産物及農林水産業用品販賣價格取締規則第一條

昭和十三年商工省令第二十四號綿絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第三十一號ステールプルフアイバー及ステールプルフアイバー絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第四十五號皮革配給統制規則第九

條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販賣價格取締規則
第一條

昭和十三年商工省令第六十三號人造絹絲販賣價格取締規則
第一條第二項

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販賣價格取締規則
第一條第二項

昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲販賣價格取締規則
第一條第二項

昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號朝鮮物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號(昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件)第八條

昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮革配給統制規則
第五條

昭和十三年臺灣總督府令第一百十四號物品販賣價格取締規則

規則第一條

昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販賣價格取締規則
第一條

昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配給統制規則第六條

昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群島物品販賣價格取締規則第一條

【參照】

昭和十三年四月一法律第五十五號國家總動員法抄錄

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ナシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

昭和十三年五月四勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

價格等統制令施行規則

第一條 價格等統制令(以下統制令ト稱ス)第二條第一項但書又ハ同令第七條第一項但書ノ許可ノ申請ハ左ノ各號

ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

一 關東州、滿洲及支那以外ノ地ニ輸出セララルコト明カナル物ヲ賣買スルトキ

二 輸入價格ノ昂騰特ニ著シキ輸入品ヲ賣買スルトキ

三 其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ

前項ノ許可ハ價格等ノ支拂者又ハ受領者ノ何レカ一方ニ於テ之ヲ受ケルヲ以テ足ル

第二條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地及業務ノ種類並ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣(主務大臣特ニ定メタルトキハ地方長官)ニ提出スベシ

一 前條第一項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ物ノ名稱、品種、數量及輸出セララルコトヲ明カナラシムル事項並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受

先、豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、豫定販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件、價格等ノ受領

者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ販賣先及豫定販賣價格

其ノ他ノ豫定販賣條件

二 前條第一項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ輸入品ノ名稱、品種及數量並ニ價格等ノ支拂者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受先及豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、價格等ノ受領者ガ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ買受

先、豫定買受價格其ノ他ノ豫定買受條件、販賣先及豫定販賣價格其ノ他ノ豫定販賣條件

三 前條第一項第三號ノ場合ニ於テハ前二號ニ準ズル事項及已ムヲ得ザル事由ノ詳細

前項ノ申請書ニシテ主務大臣ニ提出スベキモノハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外地方長官ヲ經由スベシ

第三條 統制令第二條第三項ノ規定ニ依リ指定期日ニ於ケル價格ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 季節品ニ付テハ最近ノ季節ノ市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付一般物價ノ變動ヲ參酌シタルモノ

二 新製品ニ付テハ之ニ類似スル物ノ指定期日ニ於ケル市場價格又ハ之ニ準ズルモノニ付原價ノ差異ヲ參酌シタルモノ

三 前各號ニ掲グル物以外ノ物ニ付テハ指定期日ニ於ケ

ル市場價格又ハ之ニ準ズルモノ

前項各號ニ掲グル價格ノ判定困難ナル場合ニ於テ受領者ノ申請アリタルトキハ地方長官(主務大臣特ニ定メタルトキハ主務大臣)又ハ主務大臣ノ指定スル法人若ハ團體其ノ額ノ指示ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ハ物以外ノモノノ價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃貸料及加工賃ノ額ニ付之ヲ準用ス

第四條 統制令第三條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ハ左ニ掲グル區別ニ依リ主務大臣又ハ地方長官ニ之ヲ爲スベシ

一 數府縣又ハ全國ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニ在リテハ主務大臣

二 道府縣又ハ其ノ一部ヲ地區トスル組合其ノ他之ニ準ズルモノニ在リテハ地方長官

前項ニ掲グル組合其ノ他之ニ準ズルモノニシテ主務大臣ノ指定シタルモノニ付テハ前項各號ノ規定ニ拘ラズ主務大臣ノ定ムル行政官廳ニ申請スベシ

第五條 前條ノ申請ヲ爲スニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員(統制令第三條第一項ノ構成員ヲ謂フ以下同ジ)タル資格及構成員ノ概數

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

前項ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スベシ

一 定款又ハ規約ノ寫

二 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定ムルヲ必要トスル事由及其ノ額ノ算定基礎ヲ明カニスル書面

三 前條ノ申請ヲ爲スベキ旨ノ決議書又ハ同意書ノ寫

第六條 統制令第二條第一項但書若ハ第七條第一項但書ノ許可又ハ同令第三條第一項ノ認可ニハ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルベシ

第七條 主務大臣又ハ地方長官統制令第三條第一項ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ公示ス

一 組合其ノ他之ニ準ズルモノノ名稱及地區

二 構成員タル資格

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

四 認可ニ附シタル制限又ハ條件

第八條 統制令第三條第二項ノ處分ハ同條第一項ノ認可ヲ爲シタル主務大臣又ハ地方長官處分ノ旨及前條各號ニ掲グル事項ヲ公示スルコトニ依リ之ヲ爲ス

第九條 統制令第四條ノ規定ニ依ル處分ハ主務大臣又ハ地方長官價格等ノ受領者ニ對シ左ノ事項ヲ通知スルニ依リ之ヲ爲ス

方長官價格等ノ受領者ニ對シ左ノ事項ヲ通知スルニ依リ之ヲ爲ス

一 價格等ノ引下後ノ額

二 引下實施ノ日

第十條 統制令第二條乃至第四條ノ規定ハ左ニ掲グル價格等ニハ之ヲ適用セズ

一 財團、營業及無體財產權ノ價格及賃貸料

二 書畫骨董ノ價格

三 鮮魚介類(冷凍魚介類及鰻ヲ除ク)生蔬菜及生果實ノ價格

四 家畜ノ價格及賃貸料並ニ家禽及立木竹ノ價格

五 輸出品タル綿絲及輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フル綿絲(關東州、滿洲及支那向ノモノヲ除ク)ノ價格

六 生絲(玉絲及野蠶絲ヲ除ク)及繭(玉繭及屑繭ヲ除ク)ノ價格

第十一條 統制令第六條第二項ノ規定ニ依リ法令ヲ定ムルコト左ノ如シ

アルコール專賣法

阿片法

遠洋航路補助法

家畜保險法

瓦斯事業法

漁船保險法

軌道法

輕金屬製造事業法

工作機械製造事業法

航路統制法

航空法

航空機製造事業法

小運送業法

索道事業規則(昭和二年遞信省令第三十六號)

鹽專賣法

鹽賣捌規則

飼料配給統制法

重要肥料業統制法

森林火災國營保險法

人造石油製造事業法

自動車製造事業法

自動車交通事業法

石油業法

製鐵事業法

粗製樟腦樟腦油專賣法

倉庫業法

煙草專賣法

煙草賣捌規則

中央卸賣市場法

地方鐵道法

電力管理法

電氣事業法

電力調整令

鐵道營業法

鐵道運輸規程

農業保險法

農業倉庫業法

米穀統制法

米穀配給統制法

酪農業調整法

臨時肥料配給統制法

硫酸アンモニア増産及配給統制法

臨時船舶管理法

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律）

第十二條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ主務大臣

之ヲ爲スモノトス但シ主務大臣ニ於テ地方長官ガ額ノ指

定ヲ爲スベキ旨ヲ定メタルモノニ付テハ地方長官額ノ指

定ヲ爲スモノトス

第十三條 統制令第七條ノ規定ニ依ル額ノ指定ハ告示ニ依

リテ之ヲ爲ス但シ軍機保護上告示ヲ不適當トスルモノニ

付テハ價格等ノ受領者ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコ

トヲ得

第十四條 統制令第十一條第一項ノ行政官廳ハ主務大臣又

ハ地方長官トス

同條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第十五條 統制令第十二條第三號ニ掲グル價格等ハ左ニ掲

グルモノトス

一 私設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ニシテ明治三

十七年勅令第九號第一條第三項ノ規定ノ適用ヲ受ケ

タルモノガ同項ニ規定スル事由ニ因リ當該保稅工場ノ

作業ニ使用スル物品ノ買入價格

二 金地金、金ノ合金、金ヲ主タル材料トスル物及産金

法ノ含金鑛産物ノ價格並ニ金資金特別會計法ニ依リ金

資金ヲ運用スル場合ノ物ノ價格

三 國營ノ鐵道、軌道及自動車並ニ其ノ附帶ノ業務ニ關

スル運送賃、賃貸料及保管料

四 統制令施行地以外ノ地相互間（關東州、滿洲及支那

ノ各地相互間ヲ除ク）ニ於ケル運送ノ運送賃

五 統制令施行地以外ノ地ヘ支拂ヒ又ハ統制令施行地以

外ノ地ヨリ受領スル保稅料（統制令施行地ト關東州、

滿洲又ハ支那トノ間ノ運送ニ對スル貨物ノ保險又ハ航

海ニ對スル船舶ノ保險ノ保稅料ヲ除ク）及統制令施行

地以外ノ地（關東州、滿洲及支那ヲ除ク）相互間ノ運

送ニ對スル貨物ノ保險又ハ航海ニ對スル船舶ノ保險ノ

保稅料

六 再保險料

七 日本船舶ニ非ザル船舶ノ賃貸料

第十六條 第二條第一項又ハ第五條ノ規定ニ依リ提出スベ

キ申請書及之ニ添附スベキ書類ハ各二通ヲ提出スベシ

第十七條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ

價格等ノ支拂者若ハ受領者又ハ組合其ノ他之ニ準ズルモ

ノヲ指定シ其ノ第二條第一項又ハ第五條ノ規定ニ依リ提

出スベキ申請書及之ニ添附スベキ書類ニ關シ別段ノ指示

ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ價格等ノ支拂者若ハ受

領者又ハ組合其ノ他之ニ準ズルモノヲ指定シ本令ニ定ム

ルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 統制令第十五條第五號ノ加工賃ヲ定ムルコト左

ノ如シ

一 米穀其ノ他ノ穀物ノ粗摺賃及乾燥賃

二 炭燒賃

三 生絲挽賃

四 肥料ノ加工賃

第十九條 本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、

地方長官トアルハ陸上運送賃並ニ陸上運送ニ直接關聯ス

ル保管料及賃貸料ニ關スル事項ニ付テハ第四條第一項第

一號ノ場合ヲ除クノ外地方鐵道事業、軌道事業（人力又

ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク）及自動車運輸事業ニ在

リテハ鐵道大臣、人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ニ

在リテハ起點所在地ヲ管轄スル地方長官、小運送業ニ在

リテハ所管鐵道局長、其ノ他ノ陸上運送事業ニ在リテハ

主タル事業地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ於テハ警視

總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及警視總監）ト

ス但シ第十四條ノ場合ニ在リテハ地方鐵道事業、軌道事

業（人力又ハ馬力ヲ動力トスルモノヲ除ク）及自動車運

輸事業ヲ除クノ外鐵道大臣及小運送業ニ在リテハ當該鐵

道局長、其ノ他ノ陸上運送事業ニ在リテハ當該地方長官

（東京府ニ於テハ人力又ハ馬力ヲ動力トスル軌道事業ヲ

除クノ外警視總監但シ索道事業ニ在リテハ東京府知事及

警視總監）トス

本令ニ於テ主務大臣、主務大臣又ハ地方長官、地方長官

トアルハ船舶ノ價格、賃貸料及水上運送賃ニ關スル事項

ニ付テハ總噸數百噸以上ノ汽船以外ノ船舶ノ賣買價格、

賃貸料及運送賃並ニ長サ五十米未滿ノ船舶ノ製造價格ニ

在リテハ所轄逓信局長、其ノ他ニ在リテハ逓信大臣トス
 但シ專ラ湖川ヲ航行スル船舶及總噸數二十噸未満ノ船舶
 (艀船、曳船及總噸數五噸以上ノ運送船ヲ除ク)ノ賣買價
 格、賃賃料及運送賃並ニ總噸數五噸未満ノ船舶ノ製造價
 格ニ在リテハ地方長官(東京府ニ於テハ運送賃ニ在リテ
 ハ東京府知事及警視總監)トス
 本令ニ於テ地方長官トアルハ醫藥品ノ價格ニ關スル事項
 ニ付テハ東京府ニ於テハ東京府知事及警視總監トス
 附則
 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式
 (用紙ノ大サハ日本標準規格A7ト
 シ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
 (表面)

價格等統制令第十一條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

當該官廳印

官 職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルト
 キハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏チシ
 テ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他
 ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
 國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官
 吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲
 役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 價格統制令第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國
 家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ生産、販賣、運送、
 保管、賃賃、損害保險若ハ加工ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當
 該官吏チシテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其ノ
 他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件
 ナ檢査セシムルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ當該官吏チシ
 テ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ
 携帯セシムベシ

【參照】

明治三十七年四月十一日勅令第九號ハ私設保稅倉庫營業ノ特許等ニ
 關シ特許手数料ヲ徵收スルノ件ナリ

賃金臨時措置令

- 第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第六條ノ規定ニ基キ勞務者ノ賃金ニ關スル臨時措置ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 本令ニ於テ勞務者ト稱スルハ船員トシテ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ニ従事スル爲ニ雇傭セラレ賃金ヲ受クル者ヲ謂フ但シ命令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク
- 一 礦物、砂鑛業、石切業其ノ他礦物採取ノ事業
 - 二 物ノ製造、加工、淨洗、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業（電氣、瓦斯又ハ各種動力ノ發生、變更又ハ傳導ヲ爲ス事業及水道ノ事業ヲ含ム）
 - 三 土木、建築其ノ他ノ工作物ノ建設、改造、保存、修理、變更、破壊又ハ其ノ準備ノ事業
 - 四 道路、鐵道、軌道又ハ索道ニ依ル旅客又ハ貨物ノ運送ノ事業
 - 五 船渠、船舶、岸壁、波止場、停車場又ハ倉庫ニ於ケル貨物ノ取扱ノ事業
 - 六 土地ノ耕作若ハ開墾又ハ植物ノ栽植、栽培、採取若ハ伐採ノ事業其ノ他ノ農業又ハ林業
 - 七 動物ノ飼育又ハ水産動植物ノ採捕若ハ養殖ノ事業其ノ他ノ畜産業、養蠶業又ハ水産業
- 八 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事業
- 第三條 本令ニ於テ賃金ト稱スルハ賃金、給料、手當、賞與、其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ雇傭者ガ勞働ノ對償トシテ支給スル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フ
- 本令ニ於テ基本給ト稱スルハ定額賃金制ニ於ケル定額給又ハ請負賃金制ニ於ケル保證給若ハ單位時間給ヲ謂ヒ賃金基準ト稱スルハ獎勵加給、手當、實物給與若ハ命令ヲ以テ定ムル賞與以外ノ賞與ノ基準又ハ請負賃金制ニ於ケル請負單價、請負時間、歩合若ハ算定方法ヲ謂フ
- 第四條 事業ノ爲ニ勞務者ヲ雇傭スル者（以下雇傭主ト稱ス）ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ一部ノ賃金ヲ引上グル目的ヲ以テ昭和十四年九月十八日（以下指定期日ト稱ス）ノ基本給ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 雇傭主本令施行前其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ一部ノ賃金ヲ引上グル目的ヲ以テ指定期日ノ基本給ヲ變更シタル場合ニ於テハ變更シタル基本給ニ依リ賃金ヲ支給スルコトヲ得ズ
- 前二項ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 第五條 指定期日後雇入ルル勞務者ニ付テハ其ノ雇入ノ際ノ基本給ヲ以テ指定期日ノ基本給ト看做ス
- 第六條 雇入後三十日ヲ超エザル試ノ雇傭期間ヲ定メタル勞務者ニシテ指定期日後其ノ試ノ雇傭期間ヲ終リタルモノニ關スル本令ノ適用ニ付テハ其ノ試ノ雇傭期間ヲ終リタリ後ニ基本給ヲ定メタル時ニ於テ雇入アリタルモノト看做ス
- 第七條 雇傭主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ指定期日後雇入ルル勞務者ノ雇入ノ際ノ基本給ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ニ報告スベシ但シ第八條第一項ノ規定ニ依リ報告シタル内規ニ依リ雇入ルル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 地方長官前項ノ基本給ヲ指定期日ニ於ケル賃金ニ關スル實情ニ鑑ミ不適當ト認ムルトキハ第四條ノ規定ノ適用ニ付雇入ノ際ノ基本給ニ代ルベキモノヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ノ基本給ト看做ス
- 第八條 雇傭主ハ勞務者ノ雇入ノ際ノ基本給ニ關スル内規ヲ地方長官ニ報告スルコトヲ得
- 地方長官前項ノ規定ニ依リ報告シタル内規ヲ指定期日ニ於ケル賃金ニ關スル實情ニ鑑ミ不適當ト認ムルトキハ前條第一項但書ノ規定ノ適用ニ付之ニ代ルベキモノヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ノ基本給ト看做ス
- 第九條 雇傭主ハ其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ一部ノ賃金ヲ引上グル目的ヲ以テ指定期日ノ賃金基準ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 雇傭主本令施行前其ノ雇傭スル勞務者ノ全部又ハ一部ノ賃金ヲ引上グル目的ヲ以テ指定期日ノ賃金基準ヲ變更シタル場合ニ於テハ變更シタル賃金基準ニ依リ賃金ヲ支給スルコトヲ得ズ
- 前二項ノ規定ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニハ之ヲ適用セズ
- 第十條 雇傭主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ指定期日ノ賃金基準ヲ地方長官ニ報告スベシ
- 第十一條 同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ指定期日ニ賃金基準ノ定ナキ作業ニシテ同種又ハ類似ノ作業ニ付賃金基準ノ定アルモノニ關シテハ其ノ賃金基準ヲ以テ指定期日ノ賃金基準ト看做ス
- 指定期日ニ賃金基準ノ定ナキ作業ニシテ前項ノ規定ノ適用ナキモノニ付指定期日後ニ賃金基準ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金基準ヲ以テ指定期日ノ賃金基準ト看做ス
- 雇傭主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ指定期日後ニ定ムル賃金基準ヲ地方長官ニ

報告スベシ

地方長官前項ノ規定ニ依リ報告シタル賃金基準ヲ指定期日ニ於ケル賃金ニ關スル實情ニ鑑ミ不適當ト認ムルトキハ第九條ノ規定ノ適用ニ付之ニ代ルベキモノヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ定ムルモノヲ以テ指定期日ノ賃金基準ト看做ス

第十二條 雇傭主其ノ雇傭スル勞務者ノ簡箇ニ付基本給又ハ賃金基準ヲ變更シテ賃金ヲ増サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受クベシ本令施行前其ノ雇傭スル勞務者ノ簡箇ニ付指定期日ノ基本給又ハ賃金基準ヲ變更シテ賃金ヲ増シタルトキ其ノ支給ニ付亦同ジ前項ノ規定ハ第十三條第一項若ハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ報告シタル昇給内規ニ依リ昇給セシメ又ハセシメタル場合又ハ第十五條若ハ第十六條ノ規定ニ依リ昇給内規ノ定アルトキ之ニ依リ昇給セシムル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

第十三條 同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時五十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ其ノ雇傭スル勞務者ノ昇給内規ヲ地方長官ニ報告スベシ地方長官前項ノ規定ニ依リ報告シタル昇給内規ヲ指定期日ニ於ケル賃金ニ關スル實情ニ鑑ミ不適當ト認ムルトキ

ハ前條第一項ノ規定ノ適用ニ付之ニ代ルベキモノヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ定ムルモノヲ以テ前項ノ規定ニ依リ報告シタル内規ト看做ス

第十四條 前條ニ規定スル雇傭主以外ノ雇傭主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ雇傭スル勞務者ノ昇給内規ヲ地方長官ニ報告スルコトヲ得
前條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ報告アリタル場合ニ之ヲ準用ス
第十五條 雇傭主相互間ニ於テ又ハ厚生大臣ノ指定スル組合若ハ團體ニ於テ勞務者ノ基本給、賃金基準又ハ昇給内規ノ定ヲ爲シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ雇傭主又ハ其ノ組合員若ハ團體員(組合又ハ團體ヲ組織スル組合又ハ團體ノ組合員又ハ團體員ヲ含ム)タル雇傭主ノ爲ス雇傭ニ於テハ其ノ定ニ依ルベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 日日雇入レラルル者ノ賃金ニ付必要アル場合又ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ地方長官ハ道府縣賃金委員會ニ諮問シテ勞務者ノ基本給、賃金基準又ハ昇給内規ノ定ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ雇傭主ハ地方長官ノ爲シタル定ニ依ルコトヲ要ス但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラズ

第十七條

前二條ノ規定ニ依ル定ニシテ勞務者ノ雇入ノ際ノ基本給以外ノ基本給ニ關スルモノナルトキ、雇入ノ際ノ基本給ニ關スルモノナルトキ、賃金基準ニ關スルモノナルトキ又ハ昇給内規ニ關スルモノナルトキハ其ノ定ヲ爲シタル事項ニ付各第四條ノ規定、第七條及條八條ノ規定、第九條乃至第十一條ノ規定又ハ第十三條及第十四條ノ規定ニ之ヲ適用セズ

第十八條 雇傭主第三條第二項ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル賞與ニ關シ前年支給セザリシ時期ニ之ヲ支給セントスルトキ又ハ其ノ賞與率ヲ前年同期ニ支給シタル賞與ノ賞與率ヨリ増加シテ之ヲ支給セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受クベシ
前項ノ賞與率ノ算定方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 雇傭主ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第四條、第九條、第十二條、第十五條、第十六條及第十八條ノ規定ニ依ル制限ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
第二十條 厚生大臣又ハ地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ賃金ノ狀況ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、事務所、船舶其ノ他ノ場所ニ臨

檢シ帳簿、書類ヲ検査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證據ヲ携帶セシムベシ
第二十一條 本令實施ニ關スル重要事項ニ付厚生大臣ノ諮問ニ應ズル爲賃金臨時措置調査委員會ヲ置ク
賃金臨時措置調査委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
第二十二條 本令ハ賃金統制令第五條ノ規定ニ依リ初給賃金ヲ受クル勞務者ニ關シテハ適用セズ
本令ハ賃金統制令第六條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ
第二十三條 本令ハ國又ハ道府縣ニハ之ヲ適用セズ
本令ハ國際條約又ハ之ニ基ク協定中賃金ニ關スル定アルトキ其ノ制限ニ牴觸スル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ
第二十四條 第十三條中同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時五十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主トアルハ船員ニ付テハ常時五十人以上ノ勞務者タル船員ヲ雇傭スル雇傭主トス
第二十五條 内地ニ於テ船員ニ關スルモノヲ除ク外鑛業及砂鑛業ニ付テハ本令中地方長官トアルハ鑛山監督局長トシ道府縣賃金委員會トアルハ鑛山賃金委員會トス
内地ニ於テ船員ニ付テハ第十五條、第二十條及第二十一條中厚生大臣トアルハ逓信大臣トシ第七條及第十二條中地方長官トアルハ管海官廳トシ第八條、第十條、第十一

條及第十三條乃至第十六條中地方長官トアルハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長トシ第十八條中地方長官トアルハ遞信局長トシ第二十條中地方長官トアルハ遞信局長及管海官廳トス

第十六條中道府縣賃金委員會トアルハ船員法第一條第一項各號ニ掲グル船舶ニ乗組ム船員以外ノ船員ニ付テハ船員給料委員會トス

船員給料委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本令中遞信局長又ハ管海官廳ノ職權ニ屬スル事項ハ船員法第一條第一項各號ニ掲グル船舶ニ乗組ム船員ニ付テハ地方長官之ヲ行フ

第二十七條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トス

本令中地方長官トアルハ船員(船員法第一條第一項各號ニ掲グル船舶ニ乗組ム者ヲ除ク)ニ付テハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府遞信局長又ハ管海官廳、臺灣ニ在リテハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ臺灣

總督府交通局長又ハ管海官廳トス
第二十八條 第十六條中道府縣賃金委員會ニ關スル規定及第二十一條ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

〔參照〕

昭和三十二年四月一法律第五十五號國家總動員法抄錄

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

昭和十四年三月三十日勅令第二百二十八號賃金統制令抄錄

第五條 厚生大臣又ハ地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ未經験勞働者ノ初給賃金ヲ定ムルコトヲ得
事業主未經験勞働者ヲ雇入レタルトキハ命令ヲ以テ定ムル期間前項ノ規定ニ依リ初給賃金ニ準據シ賃金ヲ支拂フベシ但シ命令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第六條 前條ノ場合ノ外地方長官勞働者ニ支拂ハレタル賃金ノ額又ハ其ノ支給方法若シク不適當ト認ムルトキハ事業主ニ對シ將來ニ向ツテ之ヲ變更スベキコトヲ命ズルコトヲ得

賃金臨時措置令施行規則

第一條 賃金臨時措置令(以下令ト稱ス)第二條第八號ノ事業ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 物品販賣業(料理店業、飲食店業ヲ除ク)
- 二 銀行業
- 三 信託業
- 四 保險業
- 五 無盡業
- 六 倉庫業

第二條 主トシテ家事ニ従事スル勞務者ハ令第二條但書ノ規定ニ依リ同條ノ勞務者ヲザルモノトス

第三條 令第三條第二項ニ於テ命令ヲ以テ定ムル賞與トハ三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與トス

第四條 雇傭主ハ左ノ場合ニ於テ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ノ許可ヲ受ケタルトキハ令第四條第三項ノ規定ニ依リ指定日期ニ於ケル其ノ雇傭スル勞務者ノ基本給ヲ變更シ、令第九條第三項ノ規定ニ依リ賃金基準ヲ變更シ又ハ令第十五條但書若ハ第十六條第二項但書ノ規定ニ依リ令第十五條若ハ第十六條第一項ノ規定ニ依リ定ニ依ラザルコトヲ得

- 一 天災事變ニ際シ必要アルトキ
- 二 勞働時間其ノ他勞働條件ニ著シキ變更アリタルトキ
- 三 其ノ他已ムテ得ザル理由アルトキ

第五條 前條ノ許可ノ申請ニシテ基本給又ハ賃金基準ニ關スルモノニ在リテハ其ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地
- 二 變更スベキ基本給又ハ賃金基準ノ種類及其ノ内容
- 三 基本給又ハ賃金基準ノ變更ヲ受クベキ勞務者ノ種類及數
- 四 變更ヲ要スル理由
- 五 變更ニ因ル賃金支拂總額ノ増減及其ノ經營ニ及ボス影響
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項

前條ノ許可ノ申請ニシテ雇入ノ際ノ基本給ノ内規ニ關スルモノニ在リテハ其ノ申請書ニハ前項第一號、第四號及第六號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 變更スベキ内容
- 二 變更前ノ内規

- 三 最近一年間ニ雇入レタル勞務者ノ數
 - 四 變更ニ因リ經營ニ及ボス影響
- 前條ノ許可ノ申請ニシテ昇給内規ニ關スルモノニ在リテハ其ノ申請書ニハ第一項第一號及第四號乃至第六號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 變更スベキ内容
 - 二 變更前ノ昇給内規
 - 三 昇給ノ變更ヲ受クベキ勞務者ノ種類及數
- 第六條 雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ五人以上ナルトキハ令第七條第一項ノ規定ニ依リ前月中ニ基本給ヲ定メタル勞務者ノ雇入ノ際ノ基本給ヲ様式第一號ニ依リ毎月十五日迄ニ地方長官ニ報告スベシ但シ日雇入レラルル勞務者ヲ雇入ルル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第七條 令第八條第一項ノ規定ニ依リ報告スル勞務者ノ雇入ノ際ノ基本給ニ關スル内規ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地
 - 二 所定就業時間ノ定アルトキハ其ノ定
 - 三 未経験勞務者又ハ既經驗勞務者ノ雇入ノ際ノ男女別ノ基本給
 - 四 前號ノ基本給ニ付年齢別、職業別、學歷別又ハ經驗年數別ニ定アルトキハ其ノ定

- 第八條 雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ五人以上ナルトキハ令第十條又ハ第十一條第三項ノ規定ニ依リ指定期日ノ賃金基準又ハ指定期日後ニ定ムル賃金基準ヲ地方長官ニ報告スベシ
- 前項ノ規定ニ依ル報告ニシテ請負單價、請負時間、歩合若ハ算定方法又ハ獎勵加給ニ關スルモノニ在リテハ其ノ報告書ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱、所在地及其ノ作業又ハ製品ノ種類毎ニ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 作業又ハ製品ノ種類
 - 二 單價請負ノ定アルトキハ請負單價及算定方法
 - 三 時間請負ノ定アルトキハ請負時間及算定方法
 - 四 歩合請負ノ定アルトキハ歩合及算定方法
 - 五 獎勵加給ノ定アルトキハ獎勵加給ノ額若ハ率及算定方法
- 作業又ハ製品ノ種類多數ナルトキハ前項各號ノ事項ニ關スル記載ハ主要ナル作業又ハ製品ニ付爲ステ以テ足ル第一項ノ規定ニ依ル報告ニシテ手當、實物給與又ハ賞與ニ關スルモノニ在リテハ其ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地
 - 二 手當ノ種類並ニ其ノ種類毎ニ額若ハ率及給與條件

- 三 實物給與ノ種類並ニ其ノ種類毎ニ數量及給與條件
 - 四 賞與ノ種類並ニ其ノ種類毎ニ額若ハ率及給與條件
- 第一項ノ規定ニ依ル報告ハ令第十條ノ規定ニ依ルモノニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ三十日以内、令第十一條第三項ノ規定ニ依ル報告ニ在リテハ報告ヲ要スル事項ニ付其ノ定ヲ爲シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スベシ
- 同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ五人ニ達スルニ至リタルトキハ第一項ノ規定ニ依ル報告ハ其ノ五人ニ達シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スベシ
- 第九條 雇傭主ハ同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時雇傭スル勞務者ガ五人以上ナルトキハ令第十二條第一項ノ規定ニ依リ簡箇ノ勞務者ニ付基本給若ハ賃金基準ヲ變更シテ賃金ヲ増シ又ハ變更シタル基本給若ハ賃金基準ニ依リ賃金ヲ支給スルニ付地方長官ノ許可ヲ受クベシ
- 前項ノ許可ノ申請書ニハ事業ノ種類、從業場所ノ名稱、所在地及昇給セシメントスル勞務者毎ニ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 氏名、男女ノ別及年齢
 - 二 現在ノ基本給又ハ賃金基準及之ニ依リ賃金ヲ受ケタル期間

- 三 昇給セシムベキ年月日
 - 四 昇給ノ程度
 - 五 其ノ他參考トナルベキ事項
- 第十條 令第十三條第一項又ハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ報告スル昇給内規ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 事業ノ種類、從業場所ノ名稱及所在地
 - 二 昇給期ノ定アルモノニ付テハ其ノ定
 - 三 昇給ニ必要ナル期間
 - 四 昇給セシムベキ基本給又ハ賃金基準ニ付一回ノ昇給ノ最高及標準ノ額若ハ率
 - 五 昇給ニ必要ナル條件ノ定アルトキハ其ノ條件
 - 六 前三號ノ事項ニ付男女別、年齢別、職業別又ハ賃金等級別ニ定アルトキハ其ノ定
 - 七 其ノ他參考トナルベキ事項
- 第十一條 令第十三條第一項ノ規定ニ依ル昇給内規ノ報告ハ本令施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ
- 同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ常時五十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スルニ至リタルトキハ令第十三條第一項ノ規定ニ依ル報告ハ其ノ五十人ニ達シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スベシ
- 第十二條 地方長官ハ令第十五條ノ規定ニ依ル定アルトキ他ノ雇傭主ヲシテ其ノ定ニ從ハシムル爲必要アル場合ニ

様式第二號

事業場勞務者請負利益率計算表				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
貸金計算期間	請負貸金制ニ依リテ請負者ニ對シテ貸金を支拂ヒタル者數	請負貸金制ニ對スル保單給付時間	請負利益金	請負利益率 (%)
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	
自昭和 年 月 日	人	日	円	

記載心得

- 1 職業又ハ作業ノ種類毎ニ請負利益率ニ著シキ差異アル場合ハ職業又ハ作業ノ種類毎ニ本計算表ヲ作製スベシ
- 2 第(4)欄ニハ請負貸金制ニ依ル支拂貸金總額ヨリ第(3)欄ノ金額ヲ減ジタルモノヲ記入スベシ
- 3 第(5)欄ニハ第(4)欄ノ金額ヲ第(3)欄ノ金額ニテ除シタル商ナ1000倍セラルモノヲ記入スベシ
- 4 保證給又ハ時間給ノ定ナキ事業場ニ在リテハ第(3)欄及第(4)欄ヲ空欄トシ請負貸金支拂總額ヲ第(4)欄ニ記入スベシ

様式第三號
(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス)

貸金臨時措置ニ關スル臨檢票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

厚生省又ハ
廳府縣印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

貸金臨時措置令第二十條 厚生大臣又ハ地方長官ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ貸金ノ狀況ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、事務所、船舶其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

貸金臨時措置令施行規則第十九條 令第二十條ノ規定ニ依ル證票ハ様式第三號ニ依ル

會社職員給與臨時措置令

第一條

國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第十一條ノ規定ニ基ク會社ノ經理ニ關スル命令ノ中職員ニ對スル給與ノ支給ニ關スルモノニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條

本令ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル會社ニ之ヲ適用ス

- 一 資本金（出資總額、株金總額、出資總額及株金總額ノ合計額又ハ基金總額ヲ謂フ）二十萬圓以上ノ會社
- 二 前號ニ規定スルモノヲ除クノ外閣令ヲ以テ定ムル會社

第三條

本令ニ於テ職員ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一 機關トシテ會社ノ業務ニ從事スル者（以下役員ト稱ス）

二 前號ニ掲グル者及賃金臨時措置令第三條ノ賃金ヲ受クル勞務者ヲ除クノ外會社ノ業務ニ從事スル者ニシテ閣令ヲ以テ定ムルモノ及會社ニ雇傭セラルル者（以下社員ト稱ス）

第四條

本令ニ於テ給與ト稱スルハ報酬、給料、手當、賞與、交際費、機密費其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ會社ガ職

員ノ職務ノ對價トシテ支給スル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フ

第五條

一定ノ金額若ハ數量又ハ一定ノ割合ニ依リ定期ニ支給スル給與及閣令ヲ以テ定ムル其ノ他ノ給與（以下給料手當ト稱ス）ニ關シテハ會社ハ昭和十四年九月十八日（以下指定期日ト稱ス）ニ於ケル給料手當ノ準則（給料手當ノ種類、階級、金額、數量、率及其ノ支給又ハ増減ニ關スル標準並ニ初任給ノ標準ヲ謂フ以下同ジ）、第七條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル給料手當ノ準則又ハ第八條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ變更シタル給料手當ノ準則ニ依ルノ外之ヲ増給シ又ハ新ニ支給スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條

會社ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ國家總動員法第三十條ノ規定ニ基キ指定期日ニ於ケル給料手當ノ準則ヲ主務大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ報告スベキ給料手當ノ準則ハ會社ガ指定期日ニ於テ内規又ハ慣習トシテ成立セルモノナルコトノ證明ヲ爲スコトヲ得ルモノ又ハ其ノ證明ヲ爲スコトヲ

得ザルモノナル場合ニ於テハ主務大臣ノ承認ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス

第七條

指定期日ニ於テ給料手當ノ準則ナキ會社又ハ指定期日後設立シタル會社ハ給料手當ノ準則ヲ定メ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第八條

會社給料手當ノ準則ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第九條

會社役員又ハ社員ニ對シ給料手當以外ノ定期ニ支給スル給與（以下賞與ト稱ス）ヲ前年支給セザリシ時期ニ於テ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ支給セントスル賞與ノ合計金額ガ閣令ヲ以テ定ムル限度ヲ超エザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合ヲ除クノ外會社ハ各支給期ニ付役員又ハ社員ニ對シ支給スル賞與ノ合計金額ヲ左ノ各號ニ掲グル金額ニ比シ増加シテ支給スルコトヲ得ズ但シ支給セントスル賞與ノ合計金額ガ閣令ヲ以テ定ムル限度ヲ超エザル場合又ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 役員ニ對スル賞與ニ關シテハ前年ニ於ケル相當時期ニ於テ支給シタル賞與ノ合計金額但シ前年ニ於ケル相當時期ニ比シ役員ノ増加アル場合ニ於テハ之ニ閣令ノ

定ムル金額ヲ加ヘタル金額

二 社員ニ對スル賞與ニ關シテハ支給セントスル賞與ノ

賞與期間ニ於テ支給スル社員ノ基本給料（給料手當ノ基本ト爲ルベキ固定給ヲ謂フ以下同ジ）ノ合計金額

ノ月平均額ニ前年ニ於ケル相當時期ニ於テ支給シタル

賞與ノ合計金額ヲ其ノ賞與期間ニ於テ支給シタル社員

ノ基本給料ノ合計金額ノ月平均額ヲ以テ除シテ得タル

割合（以下賞與率ト稱ス）ヲ乘ジタル金額

前項第二號ノ賞與期間ノ計算方法ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 會社ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ本令

施行前一年以内ニ支給シタル賞與ニ關シ其ノ支給ノ時期

及種類並ニ各支給期ニ於ケル賞與ノ合計金額、役員數及

賞與率ヲ主務大臣ニ報告スベシ

第十一條 會社役員又ハ社員ノ全部又ハ大部分ニ對シ時期

ヲ同ジクシテ臨時ノ給與（閣令ヲ以テ定ムル給與ヲ除ク

以下同ジ）ヲ支給セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受

クベシ但シ支給セントスル給與ノ合計金額ガ閣令ノ定ム

ル限度ヲ超エザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

會社職員ニ對シ臨時ノ給與ヲ支給シタルトキハ閣令ノ定

ムル所ニ依リ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ主務

大臣ニ報告スベシ

第十二條 會社相互間ニ於テ船員ノ給料手當ノ定メ爲シ主

務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ第五條ノ規定ノ適用ニ付

之ヲ其ノ會社ノ指定期日ニ於ケル船員ニ關スル給料手當

ノ準則ト看做ス

第十三條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ前條ノ定ニ加
盟セザル會社ニ付テモ船員給料委員會ニ諮問シテ前條ノ
定ヲ以テ第五條ノ規定ノ適用ニ付其ノ會社ノ指定期日ニ
於ケル船員ニ關スル給料手當ノ準則ト看做スコトヲ得
第十四條 前二條ノ場合ニ於テハ第六條ノ規定ニ依ル報告
又ハ第七條若ハ第八條ノ規定ニ依ル許可アリタルモノト
看做ス

第十五條 會社ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第五條、
第九條及第十一條ノ規定ニ依ル制限ヲ免ルル目的ヲ以テ
職員ニ對シ給與ヲ支給スルコトヲ得ズ

第十六條 主務大臣ハ職員ニ對スル給與ニ關シ國家總動員
法第三十一條ノ規定ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシ
テ事務所、工場、事業場、船舶其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業
務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコト
ヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合
ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十七條 本令施行ニ關スル重要事項ニ付主務大臣ノ諮問
ニ應ズル爲職員給與臨時措置調査委員會ヲ置ク
職員給與臨時措置調査委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定
ム

第十八條 本令ハ會社利益配當及資金融通令第七條ノ規定
ノ適用ヲ妨ゲズ

第十九條 本令ハ裁判所ガ決定ヲ以テ定メタル報酬ニハ之
ヲ適用セズ

第二十條 本令ニ於テ主務大臣トアルハ左ノ各號ニ該當ス
ル場合ニ於テ各其ノ定ムル所ニ依ルノ外總テ大藏大臣ト
ス

一 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル會社ニ在リテハ當
該會社ヲ監督スル所管大臣

二 取引所法、瓦斯事業法、保險業法、自動車製造事業
法、工作機械製造事業法、製鐵事業法、輕金屬製造事
業法、石油業法、人造石油製造事業法、大正十五年勅
令第九號又ハ產金法第三條ノ適用ヲ受クル事業ノミヲ
營ム會社ニ在リテハ商工大臣

三 電氣事業法又ハ航空機械製造事業法ノ適用ヲ受クル
事業ノミヲ營ム會社ニ在リテハ遞信大臣

四 地方鐵道法、軌道法又ハ自動車交通事業法ノ適用ヲ
受クル事業ノミヲ營ム會社ニ在リテハ鐵道大臣

五 會社ノ營ム事業ノ一部ニ付前三號ニ掲グル法令ノ適
用ヲ受クル會社ニ在リテハ當該所管大臣及大藏大臣

六 前各號ノ規定ニ拘ラズ職員中船員ニ關スルモノニ在
リテハ遞信大臣

大藏大臣ハ第五條乃至第九條及第十一條ノ規定ノ施行ニ

關スル重要事項ニ付關係各大臣ニ協議スベシ

大藏大臣以外ノ主務大臣ハ第五條乃至第九條及第十一條
乃至第十三條ノ規定ノ施行ニ關スル重要事項ニ付大藏大
臣及關係各大臣ニ協議スベシ

第二十一條 大藏大臣ハ前條第一項第一號乃至第四號ニ掲
グル會社以外ノ會社ニ關スル本令施行ノ事務ノ一部ヲ稅
務監督局長又ハ稅務署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

船員ニ付テハ第五條本文、第六條乃至第八條、第十二條
及第十三條中主務大臣トアルハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依
リ遞信大臣又ハ遞信局長トシ第五條但書中主務大臣トア
ルハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ遞信局長又ハ管海官廳ト
シ第九條乃至第十一條中主務大臣トアルハ遞信局長又ハ管
第十六條中主務大臣トアルハ遞信大臣、遞信局長又ハ管
海官廳トス

大藏大臣ハ稅務監督局長若ハ稅務署長ヲシテ第十六條ノ
規定ニ依ル報告ヲ徴セシメ又ハ稅務監督局長、稅務署長
若ハ其ノ代理官ヲシテ同條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ爲サ
シムルコトヲ得

第二十二條 第五條乃至第十一條及第十六條ノ規定ノ施行
ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 本令中閣令トアルハ船員ニ關スルモノニ付テ

ハ遞信省令トス

第二十四條 第五條乃至第十三條及第十六條中主務大臣ト

アルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮
總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス但シ日
本勸業銀行、北海道拓殖銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行及朝
鮮、臺灣又ハ樺太ニ營業所ヲ有シ銀行法又ハ貯蓄銀行法
ノ適用ヲ受クル銀行並ニ南洋拓殖株式會社ニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第二條、第三條、第五條、第六條、第九條、第十一條及
第二十二條中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督
府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ第十三條中船員
給料委員會ニ關スル規定及第十七條ノ規定ヲ適用セズ

第二十五條 朝鮮總督ハ本令施行ニ關スル事務ノ一部ヲ其
ノ定ムル所ニ依リ稅務監督局長又ハ稅務署長ヲシテ取扱
ハシムルコトヲ得

朝鮮總督ハ稅務監督局長若ハ稅務署長ヲシテ第十六條ノ
規定ニ依ル報告ヲ徴セシメ又ハ稅務監督局長、稅務署長
若ハ其ノ代理官ヲシテ同條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ爲サ
シムルコトヲ得

臺灣總督ハ州知事若ハ廳長ヲシテ第十六條ノ規定ニ依ル
報告ヲ徴セシメ又ハ州知事、廳長又ハ其ノ代理官ヲシテ

同條ノ規定ニ依ル臨檢査ヲ爲サシムルコトヲ得
州知事ハ前項ノ規定ニ依リ委任セラレタル事務ヲ稅務出
張所ヲシテ分掌セシムルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺
灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨ
リ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以
前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖
モ仍其ノ效力ヲ有ス

〔參照〕

昭和十三年四月一日法律第五十五號國家總動員法抄錄

第十一條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ
定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債
ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ爲シ、
會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲
シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者
ニ對シ資金ノ運用ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

大正十五年三月六日勅令第九號ハ日本國及ソヴイェト社會主義共和國
聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的法則ニ關スル條約關係議定書(乙)
ニ基テ利權契約ニ依リ北樺太ニ於テ石油又ハ石炭ノ採掘ニ關スル
事業ヲ營ムコトヲ目的トスル帝國株式會社ニ關スル條件ナリ

會社職員給與臨時措置令施行規則

第一條 會社職員給與臨時措置令(以下令ト稱ス)第二條

第二號ノ會社ハ職員數當時三十人以上ノ會社トス

第二條 令第三條第二號ノ會社ノ業務ニ從事スル者ハ顧

問、相談役、囑託其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ繼續シテ會
社ノ業務ニ從事スル者ヲ謂フ

第三條 令第五條ノ其ノ他ノ給與ハ左ニ掲グルモノトス

一 繼續シテ利用セシムル住居其ノ他ノ施設

二 危險ナル業務ニ從事スル場合其ノ他職務ニ關シ一定

ノ事實アル場合ニ一定ノ金額若ハ數量又ハ一定ノ割合
ニ依リ支給スル給與

第四條 令第五條但書ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ

ントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書
ヲ主務大臣ニ提出スベシ

一 會社ノ本店又ハ主たる事務所ノ所在場所、電話番號、
商號又ハ名稱及代表者ノ氏名

二 會社ノ資本金額及拂込資本金額

三 會社ノ營業事業ノ概要

四 會社ノ職員ノ種類及數

五 指定期日ニ於ケル給料手當ノ準則、令第七條ノ規定

ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル準則又ハ令第八條ノ
規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ變更シタル準則ニ依
ラズシテ増給シ又ハ新ニ支給セントスル給料手當ノ種
類

六 當該給料手當ヲ受クベキ職員ノ種類、職名及氏名並
ニ給料手當ヲ増給セントスル場合ニ在リテハ其ノ者ニ
對スル其ノ給料手當ノ支給ノ現狀

七 當該給料手當ノ増給金額又ハ支給金額及増給又ハ支
給ノ豫定期期

八 當該給料手當ヲ増給シ又ハ新ニ支給スルノ要アル事
由

九 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第五條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ指定期日ニ於ケル給
料手當ノ準則ヲ主務大臣ニ報告セントスル會社ハ別表第
一號様式ニ依リ報告書ヲ本令施行後三十日以内ニ主務大
臣ニ提出スベシ

前項中本令施行後三十日以内トアルハ本令施行後ノ資本
増加(合併ニ因ル資本増加ヲ含ム以下同ジ)又ハ職員數
ノ増加ニ依リ令第二條各號ノ會社ト爲リタルモノニ關シ

テハ當該會社ガ同條各號ノ會社ト爲リタル後三十日以内トス

第六條 指定期日ニ於ケル給料手當ノ準則ニ付令第六條第二項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ承認ヲ受ケントスル會社ハ別表第一號様式ニ依ル承認申請書ヲ本令施行後三十日以内ニ主務大臣ニ提出スベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
主務大臣第一項ノ規定ニ依ル承認申請ニ對シ承認ヲ爲シタルトキハ前條ノ規定ニ依ル報告書ノ提出アリタルモノト看做ス

第七條 令第七條ノ規定ニ依リ給料手當ノ準則ヲ定メ主務大臣ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ別表第一號様式ニ依ル許可申請書ヲ本令施行前設立シタルモノニ在リテハ本令施行後三十日以内ニ、本令施行後設立シタルモノニ在リテハ設立後三十日以内ニ主務大臣ニ提出スベシ

前項中本令施行後三十日以内又ハ設立後三十日以内トアルハ本令施行後ノ資本増加又ハ職員數ノ増加ニ依リ令第二條各號ノ會社ト爲リタルモノニ關シテハ當該會社ガ同條各號ノ會社ト爲リタル後三十日以内トス

第八條 令第八條ノ規定ニ依リ給料手當ノ準則ノ變更ニ付主務大臣ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ變更スルノ要アル事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シ別表第一號様式ニ依ル許

可申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

第九條 令第九條第一項但書ノ限度ハ本令施行前一年以内ニ役員又ハ社員ニ對シ賞與ヲ支給セザリシ會社ノ役員又ハ社員ニ對スル賞與ニ付左ニ掲グル金額トス

一 役員ニ對スル賞與ニ關シテハ百圓ニ其ノ賞與ノ屬スル事業年度ノ月數ヲ乘ジテ得タル金額ニ當該事業年度末ニ於ケル役員數ヲ乘ジタル金額

二 社員ニ對スル賞與ニ關シテハ支給セントスル賞與ノ支給期ノ屬スル月ノ前月ヨリ六月ヲ（本令施行後賞與ヲ支給シタル場合ニ於テハ最近ノ賞與ノ支給期ノ屬スル月迄）遡リタル期間ニ於テ支給シタル社員ノ基本給料ノ合計金額ノ三分ノ一ニ相當スル金額

第十條 令第九條第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

- 一 會社ノ本店又ハ主タル事務所ノ所在場所、電話番号、商號又ハ名稱及代表者ノ氏名
- 二 會社設立ノ年月日
- 三 會社ノ資本金額及拂込資本金額
- 四 會社ノ營業事業ノ概要
- 五 會社ノ職員ノ種類及數
- 六 本令施行前一年以内ニ役員又ハ社員ニ對シ賞與ヲ支

給シタルコトノ有無

七 前年支給セザリシ時期ニ於テ役員又ハ社員ニ對シ支給セントスル賞與ニ關シ前條各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額及其ノ算出ノ基礎

八 當該賞與ノ種類及合計金額

九 當該賞與支給ノ豫定期

十 當該賞與ヲ支給スルノ要アル事由

十一 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第十一條 令第九條第二項但書ノ限度ハ左ニ掲グル金額トス

一 役員ニ對スル賞與ニ關シテハ百圓ニ其ノ賞與ノ屬スル事業年度ノ月數ヲ乘ジテ得タル金額ニ當該事業年度末ニ於ケル役員數ヲ乘ジタル金額

二 社員ニ對スル賞與ニ關シテハ支給セントスル賞與ノ賞與期間ニ於テ支給シタル社員ノ基本給料ノ合計金額ノ三分ノ一ニ相當スル金額

令第九條第二項第一號但書ノ金額ハ百圓ニ其ノ賞與ノ屬スル事業年度ノ月數ヲ乘ジテ得タル金額ニ當該事業年度末ニ於ケル増加シタル役員數ヲ乘ジタル金額トス

令第九條第二項第二號ノ賞與期間ハ賞與ノ支給期ノ屬スル月ノ前月ヨリ最近ノ賞與ノ支給期ノ屬スル月迄遡リタル期間トス但シ前年ニ於ケル相當時期ニ於テ支給シタル

賞與ノ支給期前一年以内ニ賞與ヲ支給セザリシキハ其ノ賞與ノ賞與期間ハ其ノ支給期ノ屬スル月ノ前月ヨリ一年ヲ遡リタル期間内ニ於テ社員ノ基本給料ヲ支給シタル期間トシ其ノ一年ヲ遡リタル期間内ニ於テ社員ノ基本給料ヲ支給セザリシキハ其ノ後ニ於テ之ヲ支給シタル最初ノ一月間トス

第十二條 令第九條第二項但書ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

- 一 會社ノ本店又ハ主タル事務所ノ所在場所、電話番号、商號又ハ名稱及代表者ノ氏名
- 二 會社ノ資本金額及拂込資本金額
- 三 會社ノ營業事業ノ概要
- 四 會社ノ職員ノ種類及數
- 五 令第九條第二項各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額及其ノ算出ノ基礎
- 六 前條第一項各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額ガ前號ノ金額ヲ超ユル場合ニ於テハ其ノ金額及其ノ算出ノ基礎
- 七 第五號又ハ前號ノ金額ニ比シ増加シテ支給セントスル賞與ノ種類及合計金額
- 八 當該賞與支給ノ豫定期

九 當該賞與ノ合計金額ヲ第五號又ハ第六號ノ金額ニ比シ増加シテ支給スルノ要アル事由
 十 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第十三條 令第十條ノ規定ニ依リ同令施行前一年以内ニ支給シタル賞與ニ關シ主務大臣ニ報告セントスル會社ハ別表第二號様式ニ依ル報告書ヲ本令施行後三十日以内ニ主務大臣ニ提出スベシ

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 令第十一條第一項ノ規定ニ依リ除クベキ給與ハ第三條第二號ノ給與トス

第十五條 令第十一條第一項但書ノ限度ハ一年一回臨時ノ給與ヲ支給スル場合ニ付左ニ掲グル金額トス
 一 役員ニ對スル臨時ノ給與ニ關シテハ五百五十圓ニ其ノ支給ヲ受クベキ役員數ヲ乗ジタル金額
 二 社員ニ對スル臨時ノ給與ニ關シテハ其ノ支給ヲ受クベキ社員ニ對シ其ノ支給期ノ屬スル月ノ前月中ニ於テ支給シタル基本給料ノ合計金額ノ二分ノ一ニ相當スル金額

第十六條 令第十一條第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

一 會社ノ本店又ハ主たる事務所ノ所在場所、電話番号、

商號又ハ名稱及代表者ノ氏名

二 會社ノ資本金額及拂込資本金額

三 會社ノ營業ノ概要

四 會社ノ職員ノ種類及數

五 役員又ハ社員ノ全部又ハ大部分ニ對シ時期ヲ同ジクシテ支給セントスル臨時ノ給與ヲ受クベキ役員又ハ社員ノ種類及數

六 令第十一條第一項但書ノ規定ニ依リ臨時ノ給與ヲ支給シタルコトノ有無

七 令第十一條第一項但書ノ規定ニ依リ臨時ノ給與ヲ支給シタルコトナキ場合ニ於テハ前條各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額及其ノ算出ノ基礎

八 當該給與ノ合計金額並ニ役員ニ對スルモノニ在リテハ其ノ合計金額ヲ其ノ支給ヲ受クベキ役員數ヲ以テ除シテ得タル金額、社員ニ對スルモノニ在リテハ其ノ合計金額ヲ其ノ支給ヲ受クベキ社員ニ對シ其ノ支給期ノ屬スル月ノ前月中ニ於テ支給シタル基本給料ノ合計金額ヲ以テ除シテ得タル割合

九 當該給與支給ノ豫定期

十 當該給與ヲ支給スルノ要アル事由

十一 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第十七條 令第十一條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ報告

ヲ爲スベキ會社ハ翌月十五日迄ニ其ノ前月中ニ於テ支給シタル臨時ノ給與ニ關シ別表第三號様式ニ依ル報告書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

第十八條 第四條乃至第八條、第十條、第十二條、第十三條、第十六條又ハ前條ノ規定ニ依リ會社ノ提出スベキ申請書又ハ報告書ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ各其ノ定ムル所ニ依ルノ外之ヲ三通作成シ會社ノ本店又ハ主たる事務所ノ所在地ヲ所轄スル稅務署ヲ經テ提出スベシ
 一 令第二十條第一項第一號、第二號、第三號又ハ第四號ニ該當スル會社ハ之ヲ一通作成シ主務大臣ニ直接提出スベシ
 二 令第二十條第一項第五號ニ該當スル會社ハ之ヲ同號ニ定ムル主務大臣連名宛ニ主務大臣ノ數ニ相當スル通

數作成シ同條第一項第二號、第三號又ハ第四號ニ掲グル主務大臣(同條第一項第二號、第三號又ハ第四號ニ掲グル主務大臣ニ以上アルトキハ會社ノ營業ノ中主たるモノニ關スル主務大臣)ニ直接提出スベシ
 三 前號ノ場合ヲ除クノ外銀行、信託會社、無盡會社及有價證券引受業法ノ證券引受會社ハ之ヲ一通作成シ主務大臣ニ直接提出スベシ
 第十九條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ會社ヲ指定シ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス
 本令ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス

別表

第一號様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格B2トス)

昭和 年 月 日		會社職員給與臨時措置令施行規則第 條ノ規定ニ依ル	
會社ノ所在場所	代表者姓名	千圓(拂込)	千圓()
資本金	名	年 月	日設立
大臣 殿			
一 會社ノ營業ノ概要		二 職員數 (年月日現在)	
	役員	社員	計
	名	名	名

轉職者ニ關スルモノ	學歴	新規就職者ニ關スルモノ	五 初任給ニ關スル準則
	標準	給料本備考	
他ノ共	金銭	依ニ	六 定期手當等ニ關スル準則
	ノ	モル	定期手當等ノ種類
	ノ	依	資格給
	ノ	ニ	金額、ハ割合又
	ノ	金	支給ノ
八 準則成立ノ時期	支給ノ	時	七 其ノ他ノ給與ニ關スル準則
	時	支給ノ	給與ノ種類
	時	支給ノ	支給ノ
	時	支給ノ	金額、ハ割合又
	時	支給ノ	支給ノ
			備考

員	社	員	役	職員ノ種類	三 基本給料ニ關スル準則
	者ルラセ僱雇ニ社會	他ノ其間額		年、月、日、週、ハ、別給	
					最高
					最低
					支給
					備考
				職員ノ種類	四 基本給料ノ増減ニ關スル準則
				給與ノ階級	
				昇給時期	昇給ノ標準
				昇給ニ要スル經過期間又ハ割合	
					備考

第一號様式記載心得

- 一 第五條ノ規定ニ依ル報告書、第六條ノ規定ニ依ル承認申請書又ハ第七條若ハ第八條ノ規定ニ依ル許可申請書ナルコトノ區別ヲ明ニスルコト
- 二 第六條ノ規定ニ依ル承認申請書ニハ指定期日ニ於ケル準則ヲ全部記載ノ上指定期日ニ於テ内規又ハ慣習トシテ成立セルモノナルコトノ證明ヲ爲スコトヲ得ザル部分ヲ傍線、區劃線、朱書其ノ他適宜ノ方法ニ依リ明ニスルコト
- 三 第八條ノ規定ニ依ル許可申請書ニハ變更後ノ準則ヲ全部記載シ變更部分ヲ傍線、區劃線、朱書其ノ他適宜ノ方法ニ依リ明ニスル部分ノ新舊對照ニ便ナル適宜ノ表示ヲ爲スコト
- 四 基本給料ニ關スル準則ノ欄中
 - (イ) 職員ノ種類ノ欄ニハ會社ガ實際ニ使用スル名稱別ニ記載シ且社員中第二條ノ社員ハ顧問其ノ他ノ項ニ、其ノ他ノ社員ハ會社ニ雇傭セラルル者ノ項ニ記載スルコト
 - (ロ) 標準ノ欄ニハ同一種類ニ屬スル職員ニ付最高級ト最低級トノ間ニ一級、二級、三級等ノ如ク階級ヲ區分スル場合ニハ橫線ヲ以テ欄ヲ設ケ其ノ區分ニ依リ記載スルコト
- 五 基本給料ノ増減ニ關スル準則ノ欄中
 - (イ) 職員ノ種類ノ欄ニハ四ノイニ準ジテ記載スルコト
 - (ロ) 給與ノ階級ノ欄ニハ一級、二級其ノ他基本給料ノ金額ノ區分ニ依リ昇給ノ標準ヲ異ニスル場合ニ於テ其ノ區分ヲ記載スルコト
- (ハ) 昇給時期ノ欄ニハ定期昇給ノ制アルモノニ付テハ其ノ時

六

- (イ) 減給ニ關スル標準アルトキハ之ヲ備考欄ニ記載スルコト
- (ロ) 初任給ニ關スル準則ノ欄中
 - (一) 新規就職者ニ關スルモノハ學校卒業等ノ後就職ノ經驗ナキ者ニ關スル準則ヲ記載スルコト
 - (二) 學歷ノ欄ニハ卒業學校等ノ程度若ハ種類又ハ修了シタル學科ノ種類等ニ依リ會社ガ實際ニ初任給ニ差別ヲ設ケル區分ニ依リ之ヲ記載スルコト
 - (ハ) 就職ニ際シ支度金ヲ給スル等特別ノ給與ヲ支給スルモノアルトキハ備考欄ニ之ヲ記載スルコト
 - (ニ) 轉職者ニ關スルモノハ一學歷、卒業ノ年月、前職ノ種類等ニ依リ現在ノ社員中同程度ノ者ノ給料ヲ標準トシテ決定スル「前職ノ收入ニ對シ大體同様又ハ何割以内増チ標準トシテ決定ス」等ノ如ク會社ノ定メタル準則ヲ詳細ニ記載ス

七

- 定期手當等ニ關スル準則ノ欄中
 - (イ) 定期手當等ノ種類ノ欄ニハ基本給料以外ニ一定ノ金額若ハ數量又ハ一定ノ割合ニ依リ定期ニ支給スル給與及第三條第一號ノ給與ヲ金錢ニ依ルモノト其ノ他トニ區分シテ記載スルコト
 - (ロ) 金錢ニ依ルモノニ關シテハ家族手當、通勤手當、物價手當、在勤手當、食事手當、住宅料等會社ガ實際ニ使用スル名稱ニ依リ區分シ金額、數量又ハ割合ノ欄ニハ支給資格ノ區分毎ニ記載シ支給ノ條件ノ欄ニハ支給ノ原因ト爲ル事實ヲ記載スルコト
 - (ハ) 其ノ他ニ關シテハ食事、被服等ノ現物給與又ハ社宅其ノ他ノ利益(會社ノ福利施設等職務ノ對價ト認メラザルモノヲ除ク)ノ給與ヲ其ノ種類ニ依リ區分シ金額、數量又ハ割合ノ欄ニハ支給資格ノ區分毎ニ現物ノ給與ニ在リテハ其ノ箇數及品質又ハ見積價額等ヲ、利益ノ給與ニ在リテハ社宅ノ建坪數、坪當建築費又ハ見積家賃ノ如ク其ノ内容ヲ示スルニ足ル事項ヲ記載シ支給ノ條件ノ欄ニハ支給ノ原因ト爲ル事實ヲ記載スルコト
 - (イ) 其ノ他ノ給與ニ關スル準則ノ欄中
 - (イ) 給與ノ種類ノ欄ニハ退職金(職務ノ對價トシテ支給スルモノニ非ザルモノヲ除ク)、危險ナル業務ニ従事スル場合ノ特別手當其ノ他職務ニ關シ一定ノ事實アル場合ニ一定ノ金額若ハ數量又ハ一定ノ割合ニ依リ支給スル給與ノ種類ヲ記

九

- (イ) 受給者ノ種類ノ欄ニハ給與ヲ受クベキ者ノ種類ニ依リ支給ノ條件其ノ他ニ差別アル場合ハ其ノ區分ニ依リ記載スルコト
- (ロ) 支給ノ條件ノ欄ニハ退職金ノ場合ノ在職年數等當該給與ヲ支給スル條件ヲ記載スルコト
- (ハ) 支給ノ條件ニ依リ支給ノ金額、數量又ハ割合ニ差別アルトキハ其ノ區分毎ニ之ヲ支給ノ金額、數量又ハ割合ノ欄ニ記載スルコト
- (イ) 準則成立ノ時期ノ欄ニハ内規トシテ成立セルモノニ關シテハ其ノ制定年月日ヲ記載スルコト
- (ロ) 慣習トシテ成立セルモノニ關シテハ大體ノ慣行期間ヲ記載スルコト
- (ハ) 承認又ハ許可ヲ受ケタルモノニ關シテハ承認又ハ許可ノ年月日ヲ記載スルコト
- (ニ) 第五條ノ規定ニ依ル報告書ニ在リテハ報告セントスル準則ニ付、第六條ノ規定ニ依ル承認申請書ニ在リテハ準則中指定期日ニ於テ内規又ハ慣習トシテ成立セルモノナルコトノ證明ヲ爲スコトヲ得ル部分ニ付指定期日前内規決定ノ重役會ノ決議ノ存在シタルコト又ハ指定期日前當該準則ニ依ル實際ノ給與ノ支給若ハ昇給等ノ實例ノ存在スルコト等當該準則ノ成立ニ關スル證明方法ヲ併記スルコト
- 十 本様式ニ依リ記載シ難キモノアルトキハ別紙(用紙ノ大ナハ日本標準規格B2又ハB4トス)ニ記載スルコト

第二號様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格B4トス)

會社職員給與臨時措置令施行規則第十三條ノ規定ニ依ル報告書

昭和 年 月 日	會社ノ所在場所	會社名	代表者氏名	資本金 (拂込) 千圓	大臣 殿	會社ノ營ム事業ノ概要
一 役員ニ對スル賞與						
賞與ノ種類	支給年月日	賞與ノ屬スル事業年度	合計金額	役員數	備考	
二 社員ニ對スル賞與						
賞與ノ種類	支給年月日	賞與期間	合計金額	基本給料ノ月平均額	賞與率	備考

第二號様式記載心得

- 一 昭和十三年十月二十日以後昭和十四年十月十九日迄ノ一年間ニ支給シタル賞與ニ付記載スルコト
- 二 賞與ノ種類ノ欄ニハ賞與、交際費、期末賞與、年末賞與等會社ガ實際ニ使用シタル名稱ニ依リ記載スルコト
- 三 支給年月日ノ欄ニハ會社ガ支拂ヲ開始シタル年月日ヲ記載スルコト
- 四 役員數ノ欄ニハ當該事業年度末ノ員數ヲ記載スルコト

- 五 基本給料ノ月平均額ノ欄ニハ當該賞與期間ニ於テ支給シタル社員ノ基本給料ノ合計金額ノ月平均額ヲ四位未満四捨五入シテ記載スルコト
- 六 賞與率ノ欄ニハ賞與ノ合計金額ヲ基本給料ノ月平均額ヲ以テ除シテ得タル百分率ヲ百分ノ一未満ヲ切捨テ記載スルコト
- 七 各社員ニ對スル實際ノ賞與率ノ中最高ノモノト最低ノモノトヲ備考欄ニ記載スルコト

第三號様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格B4トス)

八 現物ヲ以テ支給シタル場合ニハ其ノ品名、數量及見積價額

ヲ備考欄ニ記載スルコト

昭和 年 月 日	會社ノ所在場所	會社名	代表者氏名	資本金 (拂込) 千圓	大臣 殿	會社ノ營ム事業ノ概要
會社職員給與臨時措置令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル報告書						
給與ノ種類	支給年月日	金額	受給者ノ資格又ハ氏名	支給ノ標準	支給ノ事由	備考

第三號様式記載心得

- 一 現物ヲ以テ支給シタル場合ニハ金額ノ欄ニ其ノ品名、數量及見積價額ヲ記載スルコト
- 二 一定ノ資格ヲ有スル者ニ限り支給セラレ其ノ支給ヲ受ケタル者ガ二人以上ナル場合ニハ其ノ資格及支給ヲ受ケタル者ノ員數ヲ記載シ氏名ハ之ヲ記載セザルコト

- 三 令第十一條第一項但書ノ規定ニ依リ支給シタル臨時ノ給與ニ關シテハ第十五條各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額及其ノ算出ノ基礎ヲ備考欄ニ記載スルコト
- 四 主務大臣ノ許可ヲ受ケ支給シタル臨時ノ給與ニ關シテハ許可ノ年月日ヲ備考欄ニ記載スルコト

職員給與臨時措置調査委員會官制

- 第一條 職員給與臨時措置調査委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ會社職員給與臨時措置令施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス
- 第二條 委員會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 特別ノ事項ヲ調査審議スルタメ必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
- 第三條 會長ハ大藏次官ヲ以テ之ニ充ツ
- 委員及臨時委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
- 第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

- 會長事故アルトキハ大藏大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
- 第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
- 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第六條 委員會ニ書記ヲ置ク關係各廳判任官ノ中ヨリ大藏大臣ノヲ命ズ
- 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 附則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

地代家賃統制令

- 第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第十九條ノ規定ニ基ク地代及家賃ニ關スル統制ハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 本令ニ於テ借地トハ建物所有ノ目的ヲ以テ賃借セラレ又ハ地上權ヲ設定セラレタル土地ヲ謂ヒ借家トハ賃借セラレタル建物（建物ノ一部タル室ヲ含ム）ヲ謂フ
- 第三條 借地又ハ借家ノ貸主（以下單ニ貸主ト稱ス）ハ借地又ハ借家ニ付左ノ各號ノ地代又ハ家賃ヲ超エテ地代又ハ家賃ヲ定ムルコトヲ得ズ但シ厚生大臣ノ定ムル事由アル場合ニ於テ地方長官ノ許可アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 昭和十三年八月四日ニ於テ地代又ハ家賃アリタルモノニ付テハ同日ニ於ケル地代又ハ家賃（其ノ不明ナルトキハ同日以後ノ判明セル最初ノ地代又ハ家賃）但シ昭和十三年八月五日以後本令施行前建物ノ増築又ハ改築ニ因リ家賃ニ變動アリタルモノニ付テハ増築又ハ改築ノ工事ノ竣功後ニ於ケル最初ノ家賃
- 二 前號ニ該當セザル場合ニ於テ昭和十三年八月五日以後本令施行前ニ地代又ハ家賃アルニ至リタルモノニ付

- テハ同日以後ニ於ケル最初ノ地代又ハ家賃（其ノ不明ナルトキハ判明セル最初ノ地代又ハ家賃）但シ其ノ後本令施行前建物ノ増築又ハ改築ニ因リ家賃ニ變動アリタルモノニ付テハ増築又ハ改築ノ工事ノ竣功後ニ於ケル最初ノ家賃
- 三 前二號ニ該當セザル場合ニ於テ本令施行後ニ地代又ハ家賃アルニ至リタルモノニ付テハ本令施行後ニ於ケル最初ノ地代又ハ家賃
- 第四條 地方長官前條第一號但書、第二號又ハ第三號ノ地代又ハ家賃ガ著シク不當ナリト認ムルトキハ地代又ハ家賃ノ減額ヲ命ズルコトヲ得
- 前項ノ地方長官ノ命令ニ依リ減額シタル地代又ハ家賃ノ前條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同條各號ニ掲グル地代又ハ家賃ト看做ス
- 第五條 地方長官前二條ノ規定ニ依リ許可又ハ命令ヲ爲サントスルトキハ地代家賃審査會ノ議ヲ經ベシ
- 家賃地代審査會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第六條 貸主ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ本令ノ適用ヲ免ルル爲借地又ハ借家ノ借主（以下單ニ借主ト稱ス）

ニ對シ借地又ハ借家ノ契約ニ定メザル財産上ノ利益ヲ求ムルコトヲ得ズ

第七條 地方長官必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ借地又ハ借家ニ關シ貸主若ハ借主ヨリ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ日出ヨリ日没迄ノ間借地、借家其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ狀況若ハ借地、借家ノ契約書其ノ他ノ物件ヲ調査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第八條 第三條乃至第五條ノ規定ハ敷金、修繕費ノ負擔其ノ他地代又ハ家賃以外ノ借地又ハ借家ノ條件ニシテ厚生大臣ノ指定スルモノニ付之ヲ準用ス

第九條 本令ハ國又ハ道府縣ガ貸主タル借地又ハ借家ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ昭和十三年八月四日トアルハ朝鮮ニ在リテハ昭和十三年

十二月三十一日、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年九月十八日トシ昭和十三年八月五日トアルハ朝鮮ニ在リテハ昭和十四年一月一日、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年九月十九日トス
朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ地代家賃審査會ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ

附則

第十一條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 本令ハ昭和十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

第十三條 本令施行前第三條第一號又ハ第二號ノ地代又ハ家賃ヲ増額シタル借地又ハ借家ニ於テハ貸主ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ昭和十四年十一月一日以後ノ分ニ付之ヲ第三條第一號又ハ第二號ノ地代又ハ家賃ニ回復スベシ
第十四條 前條ノ規定ハ昭和十三年八月五日以後本令施行前ニ於テ裁判、裁判上ノ和解又ハ借地借家調停法ニ依リ調停ニ依リ地代又ハ家賃ノ増額アリタルモノニ付テハ之ヲ適用セズ本令施行ノ際現ニ繫屬スル訴訟、裁判上ノ和解事件、借地借家調停法ニ依リ調停事件又ハ借地借家臨

時處理法第二條ノ規定ニ依ル事件ニ於テ地代又ハ家賃ノ増額アリタルモノニ付亦同ジ

前項ノ裁判、和解又ハ調停ニ依リ増額セラレタル地代又ハ家賃ハ第三條ノ規定ニ適用ニ付テハ之ヲ同條第一號本文ノ地代又ハ家賃ト看做ス

第十五條 前二條ノ規定ハ敷金、修繕費ノ負擔其ノ他地代又ハ家賃以外ノ借地又ハ借家ノ條件ニシテ厚生大臣ノ指定スルモノニ付之ヲ準用ス

〔參照〕

大正十三年七月二十法律第十六號借地借家臨時處

理法抄錄

第二條 地代、家賃、敷金其ノ他借地、借家ノ條件カ著シク不當ナルトキハ當事者ノ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ借地、借家關係ヲ衡平ナラシムル爲其ノ條件ノ變更ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ裁判所ハ敷金其ノ他ノ財産上ノ給付ノ返還ヲ命シ又ハ其ノ給付ヲ地代若ハ家賃ノ前拂ト看做シ其ノ他相當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

地代家賃統制令施行細則

- 第一條 地代家賃統制令（以下令ト稱ス）第三條但書ノ事由アル場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス
- 一 昭和十三年八月五日以後當該土地又ハ建物ニ對スル租稅其ノ他ノ公課ノ負擔ニ付著シキ増加アリタルトキ
 - 二 借主ガ貸主ノ緣故者タリシ爲令第三條各號ノ地代又ハ家賃ガ特ニ低額ナルモノナルトキ
 - 三 貸主ニ於テ本令施行後借家ニ付増築若ハ改築ヲ爲シ又ハ昭和十三年八月五日以後借地ニ付著シキ改良工事ヲ施行シタルトキ
 - 四 前各號ニ準ズル事情其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキ
- 第二條 令第七條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル
- 第三條 令第八條ノ規定ニ依リ令第三條乃至第五條ノ規定ヲ準用スル借地又ハ借家ノ條件ハ敷金、修繕費ノ負擔、疊建具其ノ他ノ造作ニ要スル費用ノ負擔、地代又ハ家賃ノ支拂條件及借主ノ貸主ニ給付スル權利金其ノ他ノ財産上ノ利益ニ關スル條件トス令第十五條ノ規定ニ依リ令第十三條及第十四條ノ規定ヲ準用スル借地又ハ借家ノ條件

ニ付亦同ジ

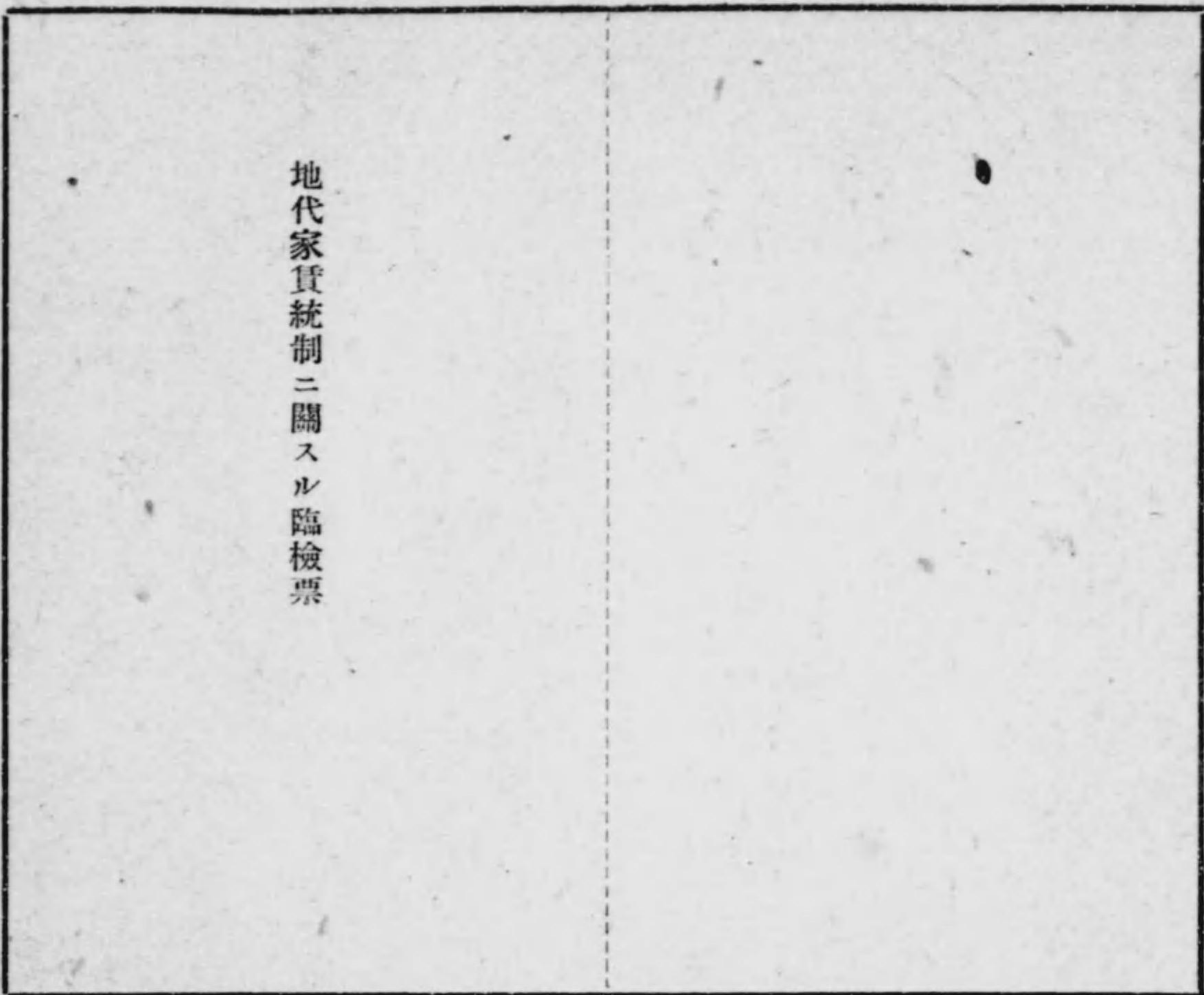
第四條 令第十三條ノ規定ニ依ル回復ハ昭和十四年十一月三十日迄ニ之ヲ爲スベシ

附則

本令ハ地代家賃統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ地代家賃統制令ノ效力ヲ有スル間其ノ效力ヲ有ス

別記様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折トス)



(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

廳府縣印

官職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

地代家賃統制令第七條 地方官必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ借地又ハ借家ニ關シ若シ貸主ノ間借地借家其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

地代家賃統制令施行規則第二條 令第七條第二項ノ規定ニ依リ前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

地代家賃統制令施行規則第二條 令第七條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

地代家賃審査會官制

- 第一條 地代家賃審査會ハ地方長官ノ監督ニ屬シ地代家賃統制令第五條ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス
- 第二條 地代家賃審査會ハ道府縣毎ニ之ヲ置キ各道府縣ノ名ヲ冠ス
- 第三條 地代家賃審査會ハ會長及委員五人以上九人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ
- 委員ハ左ニ掲グル者ニツキ豫メ地方長官ノ選任シタル者ノ中ヨリ地代家賃審査會開催ノ都度地方長官之ヲ指定ス
- 一 關係官廳ノ官吏
 - 二 市町村吏員
 - 三 特別ノ知識經驗アル者
- 第四條 會長ハ會務ヲ總理ス
- 會長事故アルトキハ地方長官ノ指名スル委員其ノ職務ヲ

代理ス

- 第五條 地代家賃審査會ノ會議ハ委員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ
- 地代家賃審査會ノ議決ハ出席シタル委員ノ過半數ノ意見ニ依ル可同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル
- 第六條 地代家賃審査會ハ必要アルトキハ當事者其ノ他適當ト認ムル者ノ意見ヲ聽キ又ハ實地ニ就キ調査スルコトヲ得
- 第七條 地代家賃審査會ニ幹事及書記若干名ヲ置キ地方長官之ヲ任命又ハ委囑ス
- 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 附則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

地代家賃統制令施行細則

- 第一條 地代家賃統制令第三條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ長官ニ提出スベシ
- 一 申請者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ主タル事務所ノ所在地
 - 二 借主ノ氏名又ハ名稱
 - 三 借地又ハ借家ノ所在ノ地名、番地（建物ノ一部タル室ニ付テハ其ノ建物及室ノ表示）
 - 四 地代家賃統制令第三條各號ノ地代又ハ家賃及之ヲ超エテ定メントスル地代又ハ家賃（地代又ハ家賃以外ノ借地又ハ借家ノ條件ノ變更ノ許可申請ニ在リテハ之ニ準ズ）
 - 五 増額（又ハ變更）ノ實施期日

- 六 増額（又ハ變更）ヲ必要トスル事由ノ詳細
- 前項ノ許可申請書ニハ借地ニ在リテハ位置及敷地、借家ニ在リテハ位置、敷地及間取ヲ示ス平面略圖ヲ添附シ其ノ他參考トナルベキ書類又ハ圖面アルトキハ之ヲ添附スベシ

- 第二條 長官ハ前條ノ規定ニ依リ提出シタル書類又ハ圖面ノ外必要ト認ムル書類又ハ圖面ノ提出ヲ命ズルコトヲ得
- 第三條 第一條ノ申請書ハ借地又ハ借家ノ所在ノ市長又ハ町村長及支廳長ヲ經由スベシ
- 市町村長及支廳長前項ノ申請書ヲ受ケタルトキハ調査ノ上意見ヲ附シ速ニ之ヲ長官ニ進達スベシ
- 附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍需品工場事業場検査令

第一條 軍需品調達ノ適正ヲ圖ル爲軍需品又ハ其ノ原料若

ハ材料ニ關シ國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム）第十九條ノ規定ニ基キ原價計算ヲ爲サシメ又ハ同法第三十一條ノ規定ニ基キ報告ヲ徵シ若ハ検査ヲ爲サシムルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ軍需品ト稱スルハ軍ノ命令又ハ契約ニ基キ生産又ハ修理ヲ爲ス兵器其ノ他ノ軍用ニ供スル物資ヲ謂フ但シ第四條ノ規定ニ依リ原價ニ關シ計算ヲ爲サシメ又ハ第五條ノ規定ニ依リ經理若ハ原價ニ關シ報告ヲ徵シ若ハ検査ヲ爲サシムル軍需品ハ左ニ掲グルモノニ限ル

一 軍機保護ノ必要アル物資

二 軍用規格ノ定アル物資

三 軍ニ於テ生産又ハ修理ヲ指導スル物資

四 軍用ニ供スル物資ニシテ其ノ生産額ガ當該工場事業場ニ於ケル生産額ノ過半ヲ占ムルモノ

五 前各號ニ掲グルモノノ外軍用上特ニ必要アル物資

前項第五號ニ掲グル物資ノ範圍ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣内閣總理大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第三條 本令ニ於テ工場事業場ト稱スルハ左ニ掲グルモノ

ヲ謂フ

一 軍ノ命令又ハ契約ニ基キ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ生産又ハ修理ヲ爲ス工場又ハ事業場

二 前號ノ工場又ハ事業場ニ於テ軍ノ命令又ハ契約ニ基キ生産又ハ修理ヲ爲ス軍需品ノ原料又ハ材料ノ生産又ハ修理ヲ爲ス工場又ハ事業場

三 前二號ニ規定スル生産又ハ修理ノ下請ヲ爲ス工場又ハ事業場

第四條 陸軍大臣又ハ海軍大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ工場事業場ノ事業主ニ對シ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ原價ニ關シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條 陸軍大臣又ハ海軍大臣軍需品ノ調達ニ關シ必要アリト認ムルトキハ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ生産又ハ修理、之ニ伴フ業務又ハ經理又ハ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ原價ニ關シ工場事業場ノ事業主ヨリ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ工場事業場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類、當該工場事業場ニ於テ生産又ハ修理ヲ爲ス軍需品、其ノ原料又ハ材料其ノ他ノ

物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第六條 陸軍大臣又ハ海軍大臣必要アリト認ムルトキハ前條ニ規定スル職權ノ一部ヲ所轄官衙（陸海軍ノ學校ヲ含ム）ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官衙ノ長ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依ル職權ヲ其ノ所屬官衙

ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第七條 前二條ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

軍需品工場事業場検査令施行規則

- 第一條 軍需品工場事業場検査令（以下令ト稱ス）第四條ノ規定ニ依リ工場事業場ノ事業主ハ陸軍ノ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ニ付別冊陸軍軍需品工場事業場原價計算要綱ニ依リ原價計算ヲ行フベシ
- 第二條 令第六條ノ規定ニ依リ左ニ掲グル陸軍ノ官衙（學校ヲ含ム以下之ニ同ジ）ノ長ハ關係工場事業場ニ付令第五條ニ規定スル職權ヲ行フコトヲ得但シ經理若ハ原價ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ検査ヲ爲サシムル工場事業場ニ付テハ豫メ陸軍大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 陸軍技術本部
陸軍航空本部
陸軍兵器廠
陸軍造兵廠
陸軍運輸部
陸軍被服廠
陸軍糧秣廠
千住製絨所
陸軍衛生材料廠
朝鮮陸軍倉庫
- 臺灣陸軍倉庫
臨時陸軍東京經理部
陸軍軍醫學校
陸軍獸醫學校
- 前項ニ掲グル以外ノ陸軍ノ官衙ノ長關係工場事業場ニ付令第五條ニ規定スル職權ヲ行フ必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ行フコトヲ得
- 第三條 前條ニ規定スル陸軍ノ官衙ノ長（以下官衙ノ長ト稱ス）ハ令第六條第二項ノ規定ニ依リ工場事業場ヲ指定シテ其ノ職權ヲ其ノ所屬官衙ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得
- 第四條 官衙ノ長令第二條第一項第五號ニ掲グル物資ニ付令第五條ノ規定ニ依リ經理若ハ原價ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ検査ヲ爲サシムル必要アルトキハ陸軍大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第五條 官衙ノ長ハ豫メ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ第五條ノ規定ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ検査ヲ行フ場合ノ手續ヲ定メ當該工場事業場ノ事業主ニ之ヲ通知スベシ
- 第六條 官衙ノ長令第五條ノ規定ニ依リ臨檢検査ヲ爲サシムベキ官吏ヲ命ズル場合ニ於テ所屬ノ監督官長、監督官、會計監督官、監督官補、會計監督官補及工場事業場管理令ニ依リ陸軍ノ監督官アルトキハ之等ヲ以テ充ツルヲ例トス

- 第七條 官衙ノ長又ハ第三條ニ規定スル所屬官衙ノ長當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ豫メ當該工場事業場ノ事業主ニ之ヲ通知スベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第八條 令第七條ノ規定ニ依リ證票ハ別記様式ニ依リ官衙ノ長前項ノ證票ヲ當該官吏ニ交付シタル場合ニ於テハ當該官吏ノ職官氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スベシ
- 附 則
- 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス
- 本令施行ノ際工場事業場ノ事業主事業年度其ノ他ノ事由ニ依リ第一條ニ規定スル原價計算ハ爲スコト能ハザルトキハ官衙ノ長ノ認可ヲ受ケ昭和十五年六月三十日迄同條ニ定ムル原價計算ヲ爲サザルコトヲ得
- 第一條ノ別冊陸軍軍需品工場事業場原價計算要綱略ス

別記様式
（用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス）
（表面）

第	號	年	月	日	交付
陸軍軍需品工場事業場臨檢票					
職官氏名					
陸軍官衙 又ハ學校印					

(裏面)

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ妨グ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

軍需品工場事業場檢査令第五條 陸軍大臣又ハ海軍大臣軍需品ノ調達ニ關シ必要アリト認ムルトキハ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ生産又ハ修理、之ニ伴フ業務又ハ經理又ハ軍需品又ハ其ノ原料若ハ材料ノ原價ニ關シ工場事業場ノ事業主ヨリ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場事業場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類、當該工場事業場ニ又於テ生産ハ修理ヲ爲ス軍需品、其ノ原料又ハ材料其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

同令第六條 陸軍大臣又ハ海軍大臣必要アリト認ムルトキハ前條ニ規定スル職權ノ一部ヲ所轄スル官衙(陸海軍ノ學校ヲ含ム)ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官衙ノ長ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依ル職權ヲ其ノ所屬官衙ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得

同令第七條 前二條ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ陸軍軍需品工場事業場檢査令施行規則第八條第一項 令第七條ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

電力調整令

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ電氣事業者トハ電氣事業法第一條若ハ朝鮮電氣事業令第一條ニ掲グル事業者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業者、電氣供給事業者トハ電氣事業法第一條第一號第三號若ハ朝鮮電氣事業令第一條第一號第三號ニ掲グル事業者、營ム者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業者、營ム者、電氣鐵道事業者トハ電氣事業法第一條第二號又ハ朝鮮電氣事業令第一條第二號ニ掲グル事業者、營ム者、自家用電氣工作物施設者トハ電氣事業法第三十條第一項若ハ朝鮮電氣事業令第三十三條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シ若ハ認可ヲ受ケテ強電流電氣工作物ヲ施設シタル者又ハ樺太ニ於テ電壓十ボルト以上ノ自家用電氣工作物ヲ施設シタル者ヲ謂フ

第三條 遞信大臣ハ電力ノ消費者ニ對シ一般ノ地域、期間、用途又ハ其ノ他ノ事項ヲ指定シテ電力ノ消費ヲ制限若ハ禁止シ又ハ其ノ制限若ハ禁止ノ爲必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

電氣供給事業者ハ前項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令アリタル場合ニ於テハ電力ノ供給ニ關シ適當ナル措置ヲ講ジ當該事項ノ實施ヲ円滑ナラシムルコトヲ旨トスベシ

第四條 遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ富該供給事業ニ關シ電力ノ供給若ハ受入ヲ命ジ又ハ電力ノ供給ヲ制限若ハ禁止スルコトヲ得

遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ前項ノ規定ニ依ル命令、制限又ハ禁止ノ爲當該供給者ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第五條 遞信大臣ハ發電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ當該設備ニ依ル電力ノ生産若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ジ又ハ送電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ當該設備ニ依リ電力ノ輸送若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ズルコトヲ得

遞信大臣前項ノ規定ニ依ル命令事項ノ實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定スル電氣鐵道事業者又ハ自家

用電氣工作物施設者ニ對シ其ノ有スル電氣工作物ニ付修理其ノ他ノ事項ヲ命ズルコトヲ得

第六條 第四條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ於テ逡信大臣必要アリト認ムルトキハ命令事項ノ實施ノ爲必要ナル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ關シ關係ノ電氣事業者、自家用電氣工作物施設者又ハ電力ノ供給ヲ受クル者ニ對シ協議ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ逡信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第七條 逡信大臣必要アリト認ムルトキハ電氣事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ電氣機械器具其ノ他電氣ニ關スル用品又ハ裝置ノ貸借又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、讓渡價格其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ逡信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第八條 逡信大臣ハ第三條第一項若ハ第四條第一項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ第三條第一項、第四條第一項若ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ電氣供給事業者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ電氣料金其ノ他

供給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 逡信大臣ハ電氣事業者又ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ本令ニ依リテ爲ス制限、禁止又ハ命令ノ傳達ニ付事業主ニ代ルベキ管理人ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條、第五條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生スベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ處分ガ期間ヲ指定シテ爲サレタルモノナルトキハ當該期間終了後、其ノ他ノモノナルトキハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スベシ但シ逡信大臣ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ於テ之ヲ請求スルコトヲ得

第十一條 逡信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給若ハ消費ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十二條 逡信大臣ハ本令ニ定ムル職構ノ一部ヲ逡信局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第十三條 本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ應ズル爲電力調整委員會ヲ置ク

電力調整委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 逡信大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣ニ協議スベシ

第十五條 本令中逡信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ逡信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府逡信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局長又ハ州知事若ハ廳長トス

第十六條 第十三條及第十四條ノ規定ハ朝鮮臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十三年四月一法律第五十五號國家總動員法抄錄

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條若ハ第十四條ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通若ハ有價證券ノ應募、引受若ハ買入ノ命令又ハ第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

電力調整令施行規則

- 第一條 新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ依リ逓信大臣又ハ逓信局長ノ認可ヲ受クベシ但シ告示ヲ以テ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 新規受電電力又ハ増加受電電力一千キロワット以上ノモノニ在リテハ逓信大臣
 - 二 其ノ他ノモノニ在リテハ逓信局長
- 第二條 前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ
- 一 電力ヲ必要トスル事由
 - 二 豫定電氣供給事業者
 - 三 受電電力 受電電力ヲ増加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ
 - 四 受電時間
 - 五 受電開始豫定期日
 - 六 電力消費装置ノ施設場所及概要
- 第三條 電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力消費装置ヲ新設又ハ増設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外逓信局長ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ
- 第五條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相手方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ
- 一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 二 申請ノ目的及事由
- 前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ
- 前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得
- 當該官廳裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ當事者ニ送付スベシ
- 第六條 電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ハ告示シテ之ヲ爲ス
- 電力調整令第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止若ハ命令

- 令又ハ電力調整令第八條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス
- 電力調整令第五條、第六條、第七條第一項又ハ第九條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス
- 緊急ノ必要アルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ電信ニ依ルコトヲ得
- 第七條 電力調整令第九條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ事業主管理人ヲ選任シタルトキハ電力調整令第十條第一項ノ規定ニ基キ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ
- 第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

- 第九條 電力調整令第四條乃至第六條、第七條第一項、第九條又ハ第十一條第一項ニ定ムル逓信大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外逓信局長之ヲ行フコトヲ得
- 電力調整令ニ定ムル逓信大臣ノ職權ハ別ニ告示スル所ニ從ヒ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）之ヲ行フコトヲ得
- 第十條 第二條、第四條、第五條第一項又ハ第七條ノ規定ニ依リ申請書又ハ届書ヲ逓信大臣ニ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル逓信局長ニ提出スベシ

附 則

本令ハ電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式 (本票ノ用紙ノ大サハ國家規格A7(74mm×105mm)トシ中央點線ノ所ヨリニツ折トス)

(表面)

電力調整ニ關スル臨檢票

(裏面)

第〃、號 昭和 年 月 日交付

逓信省、逓信局
又ハ廳府縣印

官 職 氏 名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必
要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件
ヲ檢査セシムルコトヲ得
國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏
ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
電力調整令第十一條 逓信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ
規定ニ基キ電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル報告
ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其
ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他
ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ
於テハ其ノ身分ヲ示ス票ヲ携帶セシムベシ
電力調整令施行規則第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規
定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

米穀搗精等制限令

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於
テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規
定ニ基ク米穀ノ搗精若ハ酒類及麥酒ノ製造ノ制限又ハ同
法第九條ノ規定ニ基ク小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀
粉ノ輸出ノ制限ハ本命ノ定ムル所ニ依ル
前項ニ於テ酒類及麥酒トハ内地ニ在リテハ酒造税法ノ適
用ヲ受クル酒類及麥酒税法ノ適用ヲ受クル麥酒、朝鮮ニ
在リテハ酒稅令ノ適用ヲ受クル酒類ニシテ朝鮮總督ノ指
定スルモノ、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ノ指定スルモノ
南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スルモノヲ謂フ
第二條 業務ニ關シ米穀ノ搗精ヲ爲ス者ハ玄米ノ重量ニ對
スル搗上リ米ノ重量ノ割合ガ農林省令ノ定ムル割合ヲ下
ラザル限度ニ於テ米穀ノ搗精ヲ爲スベシ但シ農林省令ノ
定ムル特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合
ハ此ノ限ニ在ラズ
第三條 酒類又ハ麥酒ヲ製造スル者ハ其ノ製造石數ニ關シ
大藏省令ノ定ムル限度ヲ超エテ酒類又ハ麥酒ヲ製造スル
コトヲ得ズ但シ大藏省令ノ定ムル特別ノ事由ヲニ因リ大
藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

大藏大臣ハ大藏省令ノ定ムル所ニ依リ前項但書ノ規定ニ
依ル事務ノ一部ヲ稅務監督局長又ハ稅務署長ヲシテ取扱
ハシムルコトヲ得
第四條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ小麥其ノ他ノ米
穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ヲ制限スルコトヲ得
第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又
ハ稅務署長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十
一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ依ル制限ニ關
シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業
所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類
其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合
ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ
第六條 本令中大藏大臣又ハ農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リ
テハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテ
ハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方
長官トアルト朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州
知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ
在リテハ南洋廳長官トシ稅務監督局長又ハ稅務署長トア

ルハ樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス
本令中大藏省令又ハ農林省令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス
酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ハ臺灣ニハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ内地ニ在リテハ昭和十四年十二月一日ヨリ、朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十二月十一日ヨリ之ヲ施行ス但シ酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ノ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

〔參照〕

昭和十三年四月一日公布法律第五十五號國家總動員法抄録
第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定

ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
昭和十三年五月四日勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

米穀搗精制限規則

第一條 米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割四分トス
第二條 左ニ掲グル場合ニ於テハ地方長官ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一 酒類又ハ麥酒ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲

ストキ

二 藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

三 試驗ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

四 其ノ他農林大臣ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 搗精セントスル米穀ノ數量

二 玄米ノ重量ニ對スル搗上り米ノ重量ノ割合

三 搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由

四 搗精ノ時期及場所

地方長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者

前條第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ當該地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 工事ニ要スル物資ノ種類、寸法及數量
三 電氣、瓦斯又ハ水ノ供給ヲ受クル設備ヲ要スル場合
ニ在リテハ之ヲ供給スル者ノ氏名名稱及住所

四 工事費
五 工事著手竣工ノ豫定期
六 請負人アルトキハ其ノ氏名名稱及住所
七 其ノ他必要ナル事項

第四條 第二條第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グ
ル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ
一 建物ノ位置

二 建物ノ用途(増築又ハ改築後建物ノ用途ヲ變更セン
トスル場合ニ在リテハ其ノ用途)
三 増築又ハ改築セントスル事由
四 現存建物ノ棟數及各棟別總床面積
五 増築又ハ改築セントスル部分ノ各棟別各階ノ床面積
及總床面積並ニ各棟別用途

前項ノ許可申請書ヲ提出アリタル場合ニ於テ地方長官必
要アリト認ムルトキハ前條第二項各號ニ掲グル事項ヲ記
載シタル書面ヲ提出セシムルコトヲ得

第五條 第一條第一項ノ許可ヲ受ケ建物ヲ新築セントスル
者第三條第一項第一號、第二號又ハ第四號ニ掲グル事項
ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可

ヲ受クベシ第三條第二項ノ書面ヲ提出シタル場合ニ於テ
之ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第六條 第二條第一項ノ許可ヲ受ケ建物ヲ増築又ハ改築セ
ントスル者第四條第一項第二號又ハ第五號ニ掲グル事項
ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可
ヲ受クベシ第四條第二項ノ書面ヲ提出シタル場合ニ於テ
之ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條 第一條第二項又ハ第二條第二項ノ規定ニ依リ届出
デタル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨地方長官ニ届
出ヅベシ

第八條 地方長官第一條第一項、第二條第一項、第五條又
ハ第六條ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テハ建物ノ新築、増築又
ハ改築ニ使用シ得ル物資ノ種類、寸法、數量又ハ使途ヲ
指定スルコトヲ得

第九條 第一條第一項又ハ第二條第一項ノ許可ヲ受ケタル
者又ハ第一條第二項又ハ第二條第二項ノ届書ヲ提出シタ
ル者ハ工事竣工シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届
出ヅベシ工事ヲ廢罷シタルトキ亦同ジ

第十條 本則ニ依リ許可ヲ受ケ建物ヲ新築、増築又ハ改築
シタル者(當該建物ノ承繼人ヲ含ム)ハ其ノ工事竣工後
一年以内當該建物ヲ許可申請書ニ記載シタル用途以外ノ
用途ニ使用スルコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタ

ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第十一條 本則ニ於テハ附屬建物ハ之ヲ主タル建物ノ一部
ト見做ス

本則ニ於テ總床面積トハ長屋ニ在リテハ各戸ニ付算出シ
タルモノヲ謂フ

附則

本則ハ昭和十四年十一月十三日ヨリ之ヲ施行ス
本則ニ依リ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スベキ新築、増築又ハ
改築ニシテ本則公布前ニ工事ニ著手シ本則施行ノ際現ニ工
事中ノモノニ付テハ本則ノ規定ヲ適用セズ但シ本則施行ノ
日ヨリ一週間以内ニ當該工事中ノ建物ニ付第三條第一項又
ハ第四條第一項ニ掲グル事項ヲ具シ地方長官ニ届出ツベシ

昭和三十七年十一月八日
昭和三十四年十一月八日

商工大臣 伍 堂 卓 雄

- 一 一時ノ用ニ供スル建物
二 左ニ掲グル事業ノ用ニ供スル作業場、事務所、勞務者用住宅
(共同宿舍ヲ含ム)及其ノ附屬建物
イ 採鑛業並ニ金屬製鍊業及製鐵業
ロ 輕合金ノ製造業
ハ 工作機械器具又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業
ニ 兵器又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業
ホ 石油精製業及人造石油又ハ代用液體燃料ノ製造業
ヘ 石油輸入業
三 法令ノ規定ニ依リ設立セラレタル組合其ノ他ノ團體ノ共同施
設ノ用ニ供スル建物
四 建築ニ付國又ハ道府縣ノ補助金又ハ獎勵金ノ交付ヲ受クル建
物

木造建物建築統制規則施行細則

第一條 木造建物建築統制規則（以下規則ト稱ス）ニ依ル申請書又ハ届書ハ木造建物（以下建物ト稱ス）建築地ノ所轄警察署長ヲ經由スベシ

第二條 規則第三條乃至第六條及第十條ノ申請書ハ第一號様式ニ依リ正副二通ヲ提出スベシ
建物ニ付米松、耐火木材、釘、棒鋼、補強用鐵物、薄鋼板、メタルラス、ワイヤーラス、鋼製戸、スケールサツシユ、鐵製換氣筒、石綿スレート若ハセメントヲ使用シ又ハ電氣、瓦期又ハ水ノ供給ヲ受クル設備ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ申請書ニ記載スベシ
前項材料ノ使用又ハ製造ニ關シ許可ヲ受ケタルモノハ其ノ許可ヲ證スベキ書類ヲ添付スベシ

第三條 規則第三條乃至第六條ノ申請ニシテ支障ナシト認ムルトキハ建築許可證トシテ申請書ノ副本ニ第二號様式ニ依ル木造建築ハ許可證印ヲ捺捺ノ上建築主ニ之ヲ交付ス前項ノ場合ニ於テ前條第二項ニ掲グル物資中使用シ得ル物資ノ種類寸法、數量又ハ使途ヲ記載セル第三號様式ニ依ル物資指定書ヲ交付ス

第四條 規則第一條第二項、同第二條第二項又ハ同第七條ノ規定ニ依ル届書ハ第一號様式ニ依リ起工十日前迄ニ正副二通ヲ提出スベシ
前項ノ場合特ニ必要アリト認ムルトキハ起工期日ノ延期ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 前條ノ届出ニシテ支障ナキト認ムルトキハ建築調査濟護トシテ届書ノ副本ニ第四號様式ニ依ル木造建物調査濟印ヲ捺捺ノ上届出人ニ之ヲ交付ス

第六條 規則ニ依ル許可申請又ハ届出ニシテ其ノ建物ニ關シ臨時資金調整法其ノ他ノ法令ニ依リ主務大臣ノ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ提出スベシ
他ノ法令ニ依リ建物ニ關シ長官ノ認可、許可又ハ届出ヲ要スルモノハ本令ニ依ル申請又ハ届出イ同時ニ其ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 規則附則第二項ノ規定ニ依ル届書ハ第一號様式ニ依リ正副二通ヲ提出スベシ
前項ノ建物工事竣功シタルトキハ遲滞ナク届出ヅベシ

第八條 建物工事中工事場ニハ見易キ箇所ニ第五號様式ノ標札ヲ掲示スルノ外許可又ハ調査濟證印アル副本ヲ備ヘ

置キ當該官吏ノ要求アリタルトキハ之ヲ提示スベシ

第一號様式

申請 届別	昭和 年 月 日	署別 北海道廳長官 殿
木造建物建築統制規則ニ依ル申請 (増築又ハ改築用)	建物ノ位置 郡市 町條 大字 丁目	在來ノ用途 増築又ハ改築 セントスル理由
右關係圖書相添へ此段及申請候也	建築主ノ氏名 及住所 郡市 町條 丁目 大字 番地	代理人ノ氏名 及住所 郡市 町條 丁目 大字 番地
増築又ハ改築後ノ用途	住宅兼用建物、長屋	署印 課受 付印
		附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式ノ一)

400
122

昭和十四年十二月五日印刷納本
昭和十四年十二月十日發行

發行人 札幌市北四條西一丁目 宮本平八郎
發行所 札幌市北四條西一丁目 産業組合中央會北海道支會
印刷人 札幌市北二條西六丁目 金丸正信
印刷所 札幌市北一條西六丁目 文昭堂印刷所
電話三二八五番

第三號樣式

本造建物建築統制規則施行細則
第三條第二項ニ依ル物資指定書

第 號
昭和 年 月 日
北 海 道 廳 團

昭和 年 月 日第 號許可建築物ニ使用スル材
料指定裏面ノ如シ

注意 物資ノ配給ヲ受クル場合ハ本證ハ許可申請書ノ副
本トシ當該物資ノ配給機關ニ呈示スベシ

物資名	使 途	寸 法	數 量
釘			
補強用鐵物			
薄鋼板			

別記第五號樣式

許可又ハ調査番號
昭和 年 月 日

木造建築許可(又ハ調査)濟
何々警署
之印

建築主住所
氏名

24cm
45cm

